

# 東京都パラスポーツトレーニングセンター

## 指定管理者審査

### 提案書類（事業計画書）

団体名 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

---

所在地 東京都新宿区神楽河岸1番1号  
セントラルプラザ12階

---

代表社名 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会  
会長(代表理事) 延與 桂

---

# 事業計画書様式一覧

提 案 課 題			ページ	
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	3	
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	6
			(2) 休館日及び開場時間	10
			(3) 利用の調整	11
			(4) 利用料金	12
		2 施設の運営	トレーニング室運営業務	14
		3 施設内サービス	(1) 受付案内	15
	(2) 苦情・要望等に対する対応等		16	
	提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業	18
			(別表) 事業実施計画	20
			(2) スポーツの日記念事業	24
			(別表) 事業実施計画	25
			(3) 自主事業	26
			(別表) 事業実施計画	28
			(4) 周辺連携事業	29
			(別表) 事業実施計画	30
			(5) 利用者に対するサービス提供事業	31
			(別表) 事業実施計画	32
	2 施設の事業を支える仕組み	(1) 広報	33	
		(2) 業務の品質管理	35	
	3	都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組	36	
	提案課題 4 組織及び人材	1	効果的かつ効率的な組織体制の確保	37
			(別表) 各部門の所要人員	38
		2	明確な責任体制の構築	40
3		適切な勤務体制等	41	
提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	44	
		(2) 施設の修繕	48	
	2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	49	
		(2) 地球環境への配慮	52	
		(3) 個人情報の保護	53	
		(4) 感染拡大防止	54	
提案課題 6 収支計画			55	
(別表) 指定管理期間中の収支計画			56	
(別紙1) 収支計画の積算内訳			57	
(別紙2) ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳			59	

これまで培ってきた障害者専用スポーツ施設での実績と経験を基に、関係団体とのネットワークを最大限活用しつつ、味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザをはじめとする周辺施設とも連携し、東京におけるパラスポーツ振興の一大拠点としての責任を果たします。

パラスポーツの競技力向上の拠点と障害のある人もない人もパラスポーツに親しむことができる場として、共生社会の実現を目指します。

**【競技力の向上】**

パラスポーツの競技力向上を図るため、パラスポーツ競技団体やパラアスリート等が、継続的、安定的に練習時間・練習環境を確保できる施設運営に努めます。

**【地域との連携】**

近隣地域、味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザと一体となって地域の特性を活かした事業を展開します。

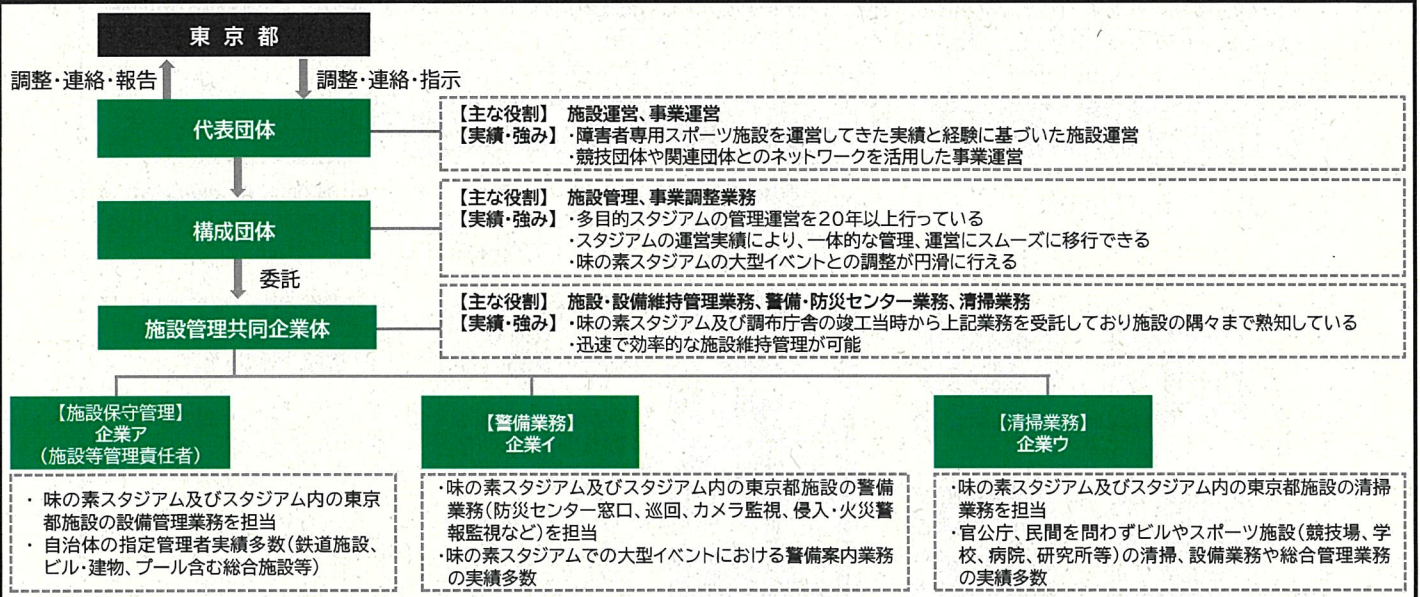
**【共生社会の実現】**

東京2020大会のレガシーを継承し、障害のある人もない人もスポーツに親しむことができる場として、パラスポーツのプログラムを提供する等、普及振興を図ります。

**【活動の活性化】**

パラスポーツ競技団体等への加入者増加等による活動の活性化につながる事業を実施します。

応募グループの構成 <コンソーシアム業務体制図(イメージ)>



**競技力の向上に向けた取組**

- 継続的、安定的な練習時間・練習環境の確保のため、積極的に施設利用を促進します。
- 競技力向上のため、様々な事業を展開していきます。  
【実施例】  
・トレーニングプログラム(個人・団体)  
・パーソナルトレーニング  
・パーソナルケア等
- 指導者等を対象とした講習会なども開催し、スポーツ活動に必要な人材育成も行います。
- 競技団体の体制強化やガバナンス等における相談窓口を設置します。

**障害のある人もない人もスポーツを楽しむ環境作り**

- 障害者専用スポーツ施設を運営してきた実績と経験を基に、様々な対象者に向けて、パラスポーツ体験会を実施します。
- 関係団体協力のもと、パラスポーツ体験等のプログラムを提供します
- 障害のある人もない人も一緒に実施できるコンテンツを通じて、スポーツの力を発揮し、共生社会の実現を目指します。  
【実施例】  
・卓球、車いすバスケットボール、ボッチャ等

**近隣地域や関係団体との連携**

- 近隣地域の関係団体等と協力し、親子で参加できるサッカー教室など、多くの人に参加できるプログラムを提供し、地域との連携を図ります。
- 味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザと連携し、見学会やパラスポーツ体験をパッケージプランとして提供し、パラスポーツへの理解を促します。
- オリンピック・パラリンピックパークとして周辺施設と連携し、それぞれの特性を活かしつつ一体感のある事業実施を目指します。

**東京2020大会レガシーの継承**

- 東京2020大会で高まったパラスポーツへの機運をレガシーとして、後世につなげるため、障害のある人もない人も参加できるパラスポーツプログラムを提供し続けます。
- 東京2020大会で使用した競技備品を用いてパラスポーツ体験会等事業の実施やパラリンピック・ムラール等の物品を展示します。
- スポーツ振興事業やスポーツの日記念事業でパラリンピック競技のパラスポーツ体験会やイベントなどを実施します。

**社会情勢に合わせた柔軟な運営(感染症対策・DX化等)**

- 受付や施設予約におけるキャッシュレスやタッチレスなど5つのレスを推進します。
- HTTやSDGsに積極的に取り組み、エネルギーの安定的な確保と成長が両立する持続可能な社会の実現に貢献します。
- コロナ禍でも適切な対策を講じ、安心な施設を提供していきます。今後感染症など急激な社会変化が生じた場合も東京都と連携し、適切・柔軟に対応します。

**東京都の施策との連携**

- 18施設のネットワークの取組に積極的に参画し、東京都パラスポーツトレーニングセンターのノウハウの提供と情報発信に努めます。
- 障害のある人もない人も参加できる体験会や健康づくりを目的としたプログラムなど幅広いサービスの提供を行い、東京2020大会で高まった都民のスポーツへの関心を捉え、スポーツ実施率の向上を図ります。
- 東京都が推進する各種施策と積極的に連携・協働して、施設運営を行います。

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 1 全体方針

当施設の設置目的や「TOKYOスポーツレガシービジョン」、そして私たちの実績や理念を踏まえ、下記のとおり全体方針を定めました。

#### 【全体方針】

東京都スポーツ推進総合計画の「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと「だれでも、いつでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができるスポーツ都市東京を目指します。

当施設はパラスポーツの競技力向上の拠点として、競技団体やチーム、アスリートが安定的、継続的に練習できる環境を整えていきます。加えて、障害のある人もない人もスポーツを楽しむことができる、パラスポーツの普及振興の場としての役割を果たします。

### 2 基本方針

【当施設全体の循環サイクル】



#### 基本方針1 競技力の向上

専用使用で継続的、安定的な練習時間・練習環境が確保できる施設として多くのパラスポーツ競技団体やチーム、アスリートが利用する。

#### 基本方針2 共生社会の実現

パラスポーツ競技団体等、関係団体との連携を深め、東京都パラスポーツトレーニングセンターと事業協力(スポーツ体験会等)を行う。

障害のある人もない人もスポーツと一緒に楽しめる環境作りを行い、パラスポーツの普及振興を進める。

#### 基本方針3 地域との連携

選手や応援者を増やして、多くの方にパラスポーツや東京都パラスポーツトレーニングセンターを知ってもらう。

#### 基本方針4 活動の活性化

パラスポーツ競技団体等の活動が活性化することで練習回数が増加し、専用使用回数が増える。

**さらなるパラスポーツの競技力の向上と普及振興を目指します！**

全体方針を実現するため、4つの基本方針を定めました。

#### 基本方針1 競技力の向上

**継続的、安定的な練習時間・練習環境の確保による競技力向上を目指します**

スポーツにおいて練習機会の増加、安定的な練習時間の確保は、競技力を向上するうえで重要です。これらをより一層増加させるため、当施設では、パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートに向けて積極的に施設利用を促進します。

- 東京都におけるパラスポーツの競技力向上の拠点となる施設運営を行います。
- パラスポーツの練習環境確保のためパラスポーツ競技団体やチーム、アスリートに向けて、継続的、安定的に練習ができる機会を提供します。
- 障害者専用スポーツ施設の運営実績やパラアスリートの競技力向上のための事業を行ってきた経験を活かし、当施設の特性を踏まえた事業実施に向け、関係団体と連携して取り組みます。
- 安心・安全に施設を利用いただけるよう、障害の種別や程度に応じた対応ができる職員を配置します。
- パラスポーツ競技団体の体制強化や競技力向上における相談窓口を設置します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 基本方針2 共生社会の実現

#### パラスポーツ体験を通じた“新たな発見”を提供し、共生社会実現を目指します

東京2020大会を契機にパラスポーツを体験できる機会が増えたことにより、パラスポーツの認知度が向上しました。その体験は様々なパラスポーツを知っていただく機会にもなりました。当施設では、障害のある人もない人も一緒に楽しむことができるパラスポーツ体験会を通じて、新たな発見の機会を提供していきます。

- 東京2020大会で使用した競技備品などを活用し、障害のある人もない人も一緒に参加できるパラスポーツ体験会を実施し、スポーツの楽しさを感じてもらうことにより、スポーツの力を通じて共生社会の実現を目指します。
- パラリンピック競技に限らず、新しい発見につながるパラスポーツ体験や紹介を行うことで、参加者の関心を引き出し、競技普及・発展に向けて取り組みます。

### 基本方針3 地域との連携

#### パラスポーツの一大拠点として、地域と一体となった施設運営を目指します

障害のある人もない人もスポーツを楽しむ施設として、18の都立スポーツ施設との連携を強化し、パラスポーツの普及振興に努めていきます。また、近隣地域、武蔵野の森総合スポーツプラザ、味の素スタジアムと連携を図り、この地域の特性を活かしたネットワークを作り、パラスポーツの一大拠点となるようにイベントや事業運営を行います。

- 近隣都立スポーツ施設(武蔵野の森総合スポーツプラザ等)やその他スポーツ施設、公園等とのネットワークを形成し、近隣地域と連携して様々なイベントを開催します。
- 武蔵野の森総合スポーツプラザと連携したパラスポーツイベントを実施します。
- 味の素スタジアムと一体となり災害発生時の障害に配慮した避難経路の確保や誘導、両施設でのイベント開催時には、連携して来館者の安全誘導に努めます。
- 東京都障害者スポーツセンターと一体的な取組を通してパラスポーツ振興に努めます。

### 基本方針4 活動の活性化

#### 関係機関団体と連携した事業運営により、活動の活性化と発展を目指します

現在活動しているパラスポーツ競技団体やチーム、アスリートの競技力向上を図るとともに、団体への加入者増加等による活動の活性化につながる事業を実施します。

- 障害のある人が様々なスポーツに取り組める事業を一般競技団体等の協力のもと開催します。また、継続的・安定的に活動できるよう、障害者専用スポーツ施設で培った経験を基に職員がパイプ役となり、一般競技団体等への参加や加入を促します。
- 事業展開を通してパラスポーツへの関心を高め、ボランティア活動を含めた協力者を増やすとともに、参加者(選手)を増やすことで団体活動の活性化につなげます。
- これらにより、競技団体の活動をより一層発展させるとともに、練習回数や頻度の増加により施設の稼働率向上につなげます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 1〔管理運営の基本方針〕

### 【当施設に求められる管理運営の基本方針に基づき施策の確実な実行】

設置目的を踏まえ、指定管理期間において定められた管理運営の基準及び基本方針に基づき、下記の対応策を実行します。

基本方針	当団体が実現する内容・特記事項
1) パラスポーツの競技力向上、パラスポーツ振興の場としての機能の発揮	障害者専用スポーツ施設の運営経験を活かし、パラスポーツを振興する団体に競技力向上と普及啓発の両側面から働きかけ、対応していきます。また、パラスポーツの一大拠点として、地域と一体となった施設運営を目指します。
2) 障害の有無に関わらずパラスポーツを普及振興するための事業の実施	代表団体の運営する障害者専用スポーツ施設で培った実績と経験に基づき、障害の有無に関わらず楽しめる競技体験などの事業やイベントを実施していきます。また事業を実施する際は、近隣地域や味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザと連携して集客を図ります。
3) スポーツ情報の発信	来館者向けに東京2020大会で使用したアーカイブ資産を展示します。また、味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザと一体の広報活動を展開します。
4) 競技団体との連携	関係団体も含めた広い連携体制を作り、競技団体と協働して事業を実施していきます。また、競技団体の活性化、体制強化につながる事業も展開していきます。
5) 東京都の施策との連携・協力	スポーツはもとより、観光、教育、文化イベント、災害時の避難拠点等、東京都の行政施策と連携・協力します。 18施設のネットワークを活かした取組を行います。
6) 効果的かつ効率的な管理運営	味の素スタジアムと一体的に施設管理を行うことで業務の効率化を図りつつ、武蔵野の森総合スポーツプラザと連携した事業の実施により、地域の賑わいを創出し、同時に収益性も高めます。
7) 安全の確保	代表団体が障害者専用スポーツ施設の運営で培ってきた実績に加え、多目的スタジアムや総合体育施設(以下「多目的スタジアム等」という。)を運営する構成団体のノウハウを活かし、事業運営や設備の管理について、安心・安全な環境を提供します。
8) 都立体育施設としての役割	公の施設としての役割を十分に理解し、公平な施設提供を行い、地域や関係団体との連携も図りながら事業運営を行います。
9) 自己評価手法の確立とPDCAサイクルの実行	年1回の利用者満足度調査をはじめ、利用者ニーズの把握に努め、PDCA分析に基づきサービス向上を図ります。その調査結果はホームページで公表するなどして、説明責任を果たしていきます。
10) 味の素スタジアムとの連携	味の素スタジアムと連携し、施設の維持管理や、当該スタジアムで行われる大型イベント時の警備・誘導など、一体的な警備・防災体制、施設の管理体制を構築することで、安全で円滑な管理運営が可能です。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

# 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

## 1 施設の提供

### (1) 施設提供の実施方針

#### 1 開業に向けての準備内容やスケジュール

##### ① 万全な開業準備を実施

- 開業準備業務は、下表のスケジュールで実施します。
- 構成団体は、多目的スタジアムの管理運営を20年以上行っています。また、施設維持管理業務を委託する施設管理共同企業体(以下「施設管理JV」という。)はスタジアム内の東京都施設の施設維持管理業務を現在も実施しています。
- 上記実績を踏まえ、危機管理マニュアル及び設備運用マニュアルの作成に着手しており、開業予定日にはスムーズな運営開始が可能です。(※選定結果の公表通知後、速やかに開業準備に取り組むことが可能です。)

	2022年12月					2023年1月																													
	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
開業準備スケジュール	作成					作成																													
調整連絡会	隔週月曜																																		
年度業務計画書						作成・提出													作成・提出																
防災関係マニュアル																																			
整備マニュアル						完成予定(各所オペレーションへ反映)																													
危機管理マニュアル						完成予定(各所オペレーションへ反映)																													
運営マニュアル																																			
予約受付																																			
備品関係						設置・取説・トレーニング・研修																													
求人研修	募集開始					募集開始													求人・オペレーション研修・開業準備																
広報活動	HP制作					HP制作																													
プレオープン・内覧会	チラシ等作成					チラシ・パンフレット・ポスター作成																													

	2023年2月										2023年3月										備考
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
開業準備スケジュール											防災訓練予定										○ 開業
調整連絡会											式典設置										
年度業務計画書																					
防災関係マニュアル											修正箇所抽出										
整備マニュアル											修正箇所抽出										
危機管理マニュアル											修正箇所抽出										
運営マニュアル											修正箇所抽出										
予約受付											専用使用・個人使用予約受付										
備品関係	設置・取説・トレーニング・研修																				
求人研修											最終研修										
広報活動	HP制作					HP・SNS開設					チラシ・パンフレット・ポスター等配布										
プレオープン・内覧会											最終研修反映										

##### ② 経験豊富な職員による研修・教育

- 代表団体の障害者専用スポーツ施設の運営経験を基に、障害の程度・種別に応じて適切に対応するための職員研修を実施し、質の高いサービスの提供に努めます。研修に当たっては、障害者専用スポーツ施設において実地研修も行います。
- 障害のある人もない人も施設を安心・安全で快適に利用できるよう、施設利用のためのマニュアルを作成し、これを用いた職員指導を行います。

##### ③ 民間施設目線でのきめ細やかな運営体制と公の施設としての安定した運営

- 多目的スタジアム等を運営する構成団体のノウハウにより、きめ細やかな運営マニュアルを作成します。
- マニュアルは、施設での研修を通して職員に確実に周知するとともに、万が一運営に課題がある場合は速やかに改善します。

##### ④ 開業前の防災訓練による安全管理の徹底

- 消防署の協力・指導のもと、開業前に防災訓練を実施します。特に、障害のある人の利用を想定した訓練について充分計画し、安全管理の強化をします。
- 防災訓練の内容については、味の素スタジアムと事前に確認・調整することで、より安全性の高いオペレーションが可能になるとともに、課題点が生じた場合は、開業前に改善し、万全の体制を構築します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 1 施設の提供

#### (1) 施設提供の実施方針

#### 2 施設の使用に関する業務の実施方針【専用使用】

##### ① 実施方針

- 公の施設としての公益性及び公平性を確保するとともに、施設経営の効率性に配慮しながら必要な調整を行います。
- 利用受付は、「東京都スポーツ施設予約システム」の導入が可能になるまでは、利用受付から使用の承認、領収書の発行などを含め、利用者が円滑に施設利用ができるよう指定管理者で適切に対応します。
- 「東京都スポーツ施設予約システム」の導入後は、予約から使用の承認などを自動で管理できるほか、24時間予約受付が可能となり利用者の利便性向上につなげます。
- ただし、システムでの予約が困難な利用者に対しては、電話や対面での受付も併用するなど、障害の種類・程度に応じた対応も行います。
- 味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザとの利用調整のための『調整連絡会(仮)』を設置します。体制を構築することで、予約が重複した場合についても円滑に調整できます。
- 18施設のネットワークを活用し、他の指定管理者と密接に連絡を取り合い、安全かつ円滑な施設の運営を行います。
- パラスポーツの競技力向上を目的とした活動を行う団体の利用は、平日夜間帯と休日が多いことが見込まれることから、福祉施設や住民団体等の平日日中の利用を促し、施設稼働率の向上に努めます。
- 構成団体のネットワークとノウハウを活かし、地元自治体との連携のもと、安全かつ円滑な施設の運営を実施します。
- 障害者専用スポーツ施設の運営を行ってきた代表団体の実績と経験を活かし、パラスポーツ競技団体等へ安心・安全なスポーツ活動ができる環境を提供します。

##### ② 利用方法

以下の施設は専用使用のみの施設です。

施設名	利用方法	備考
体育室	競技団体やチーム等による練習利用	車いすバスケットボールやシッティングバレーボールなど団体競技が継続的に練習できる環境作りを行います。
多目的室 小多目的室	競技団体やチーム等による練習利用	少人数で行う屋内競技(卓球・ポッチャ等)が練習継続できる環境を整えます。 車いす対応の卓球台設置等を行い、パラスポーツの競技力向上を目指します。
小体育室 1・2	競技団体やチーム等による練習利用	車いすフェンシングのピストの設置やポッチャ等の用具を整備し、屋内競技が快適に実施できる環境を整えます。
多目的 スタジオ	競技団体やチーム等による練習利用	ストレッチや軽運動を行うためのストレッチ用マットなどを整備します。
集会室 A・B・C	競技団体等による研修会 や講習会、ミーティング	スクリーンやモニター、DVDプレーヤーなどを整備し、研修会やミーティングを行うための環境を整えます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ



## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 1 施設の提供

#### (1) 施設提供の実施方針

##### ③ 用具の貸出し

利用者の活動等に必要な物品、用具等を適切に管理し、必要に応じて貸し出します。

- 体育室や多目的室等では、ゴールボール用ゴール、シッティングバレーボール用支柱・ネット、車いすフェンシング用ピスト、トレーニング室では、パラ・パワーリフティング用ベンチセットなど、東京2020大会で使用された用具等を貸し出します。
- 各競技用ボールやストレッチ用マット、また研修会や講習会で必要となるスクリーンやモニター等の物品についても貸し出します。
- 全ての物品、用具等については、職員による目視検査等により不具合の有無を日々確認し、最良のコンディションで使用できるように努めます。また、必要なメンテナンスや修繕を行います。

##### パラスポーツ用具の貸出し



卓球台(車いす対応)



ゴールボール用ゴール

### 3 施設の使用に関する業務の実施方針【個人使用】

#### ① 実施方針

- トレーニング室については、専用使用と個人使用を併用し、利用が重複する場合は、安全面に配慮し、利用者のニーズに合わせて運用します。
- 障害者専用スポーツ施設を運営してきた代表団体のノウハウを活かした、障害の種別・程度に応じたきめ細やかな質の高いサービスを提供します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

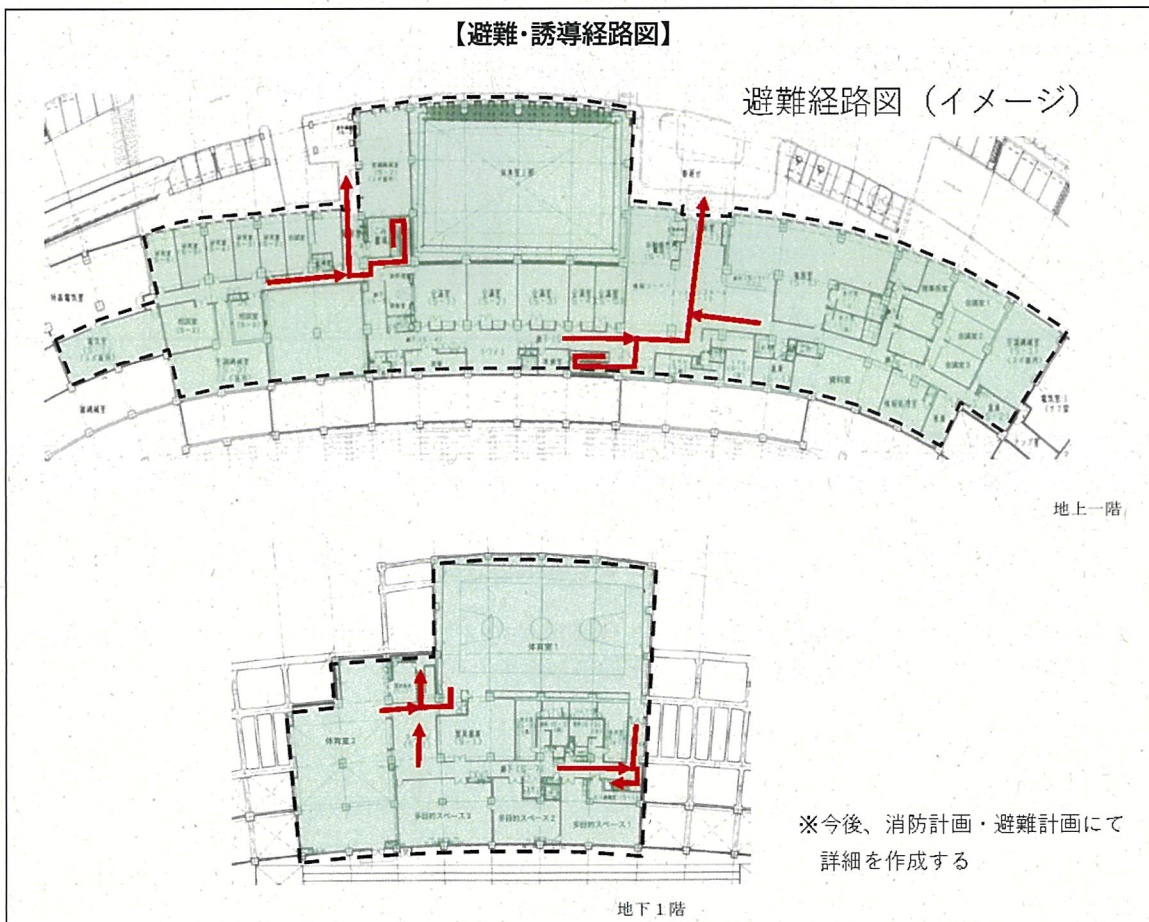
#### (1) 施設提供の実施方針

#### 4 施設の使用に関する業務の実施方針【全体】

##### ① 実施方針

- 味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、大規模災害やテロ等、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。
- 障害者専用スポーツ施設を運営してきた知識と経験を活かし、障害の種別・程度に応じた誘導を行い、安全かつ迅速に避難させます。また、避難計画の作成に当たっては、隣接する武蔵野の森総合スポーツプラザや味の素スタジアムと情報共有し、利用者の安全を十分に確保します。

【避難・誘導経路図】



##### ② VIPの来館や取材対応

- VIPの来館対応については、構成団体の実績を基に、東京都、味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザなどと連携を図り、適切に対応します。
- 取材についてはロケ撮影対応マニュアル等に沿って適切に対応し、積極的な受け入れを行います。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 1 施設の提供

#### (2) 休館日及び開場時間

##### 施設全体の休館日及び開場時間の設定についての考え方

使用ニーズに的確に応じた休館日及び開場時間の設定を行います。

##### ① 休館日について

- 東京都体育施設条例施行規則では、1か月につき5日を超えない範囲で休館日を設けるものと規定されています。休館日は東京都との事前協議を経た上で決定しますが、隣接する武蔵野の森総合スポーツプラザが毎月第三水曜日(休日の場合はその翌日)を休館日としていること、また、都立スポーツ施設18か所の中で当施設とともに障害者スポーツの拠点となる東京都障害者総合スポーツセンターや東京都多摩障害者スポーツセンターが毎週水曜日を休館日としていることから、当施設では、毎週火曜日(休日の場合はその翌日)を休館日とし、3施設で連携してパラスポーツの競技力向上のための安定的な練習時間と練習場所の確保に努めます。
- 味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザで実施される大会やイベントなどを考慮し、東京都と事前協議の上、休館日スケジュールを確定します。
- メンテナンスによる休館をできる限り少なくするため、作業を営業時間外に行う等、さらなる効率化と開館日を最大化する努力をします。

##### 【休館日の設定】

定期休館日	毎週火曜日 (休日の場合はその翌日)
年末年始	12月29日～1月3日

##### ② 開場時間について

- 東京都体育施設条例施行規則では、開場時間を午前9時から午後9時までと規定されています。開場時間については東京都と事前協議を経た上で決定しますが、退館時間を30分設けることで、利用者の練習時間の確保においてゆとりある利用が可能と考えています。  
利用時間の変更については、案内表示やホームページにわかりやすい記載を行い、周知徹底を図ります。
- 施設を快適に利用できるように、開場前の設備点検や備品の補充、開場後の清掃や点検、翌日の開場準備を時間外に行うと共に、利用者目線でチェックを徹底する事により、利用者満足度向上につなげていきます。

##### 【開場時間の設定】

開場時間	午前9時～午後9時30分(最終入場午後8時) ※退館時間を30分と設定し、ゆとりある利用に対応
------	--

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 1 施設の提供

#### (3) 利用の調整

##### 使用申請から使用承認までの業務

###### ① 専用使用における使用申請・使用承認について

- 東京都体育施設条例施行規則に基づき、使用申請に対する使用承認を行います。
- パラスポーツの国際的又は全国的な総合競技大会に採用されている競技の国際大会・全国大会等への出場を目指して練習や研修等を行う団体については、使用月の6か月前の月の初日から予約できます。これにより、国際大会や全国大会等への出場を目指すパラアスリートの活動を積極的に後押しします。
- 障害のある人にスポーツ活動の環境を提供するため、パラスポーツに使用する場合には、使用月の3か月前から予約できます。
- パラスポーツ以外で使用する場合は、2か月前から予約できます。
- 利用希望が重複した場合は、公正な利用調整を行うとともに、利用目的に応じて、東京都障害者スポーツセンターや武蔵野の森総合スポーツプラザの紹介をはじめ、18施設のネットワークを活用し、各施設の指定管理者と連携しながら、積極的に利用ニーズに応えます。
- 利用の受付に当たっては、施設等の使用の承認や領収書の発行などを含め、東京都スポーツ施設予約システムの導入までは指定管理者が適切に対応します。
- 東京都スポーツ施設予約システムの利用に際しては、維持管理を行っている指定管理者と連携し、事前研修を受ける等周到な事前準備のもと、運用します。
- 管理運営基準に基づき、使用申請の受付、決定、承認を行います。空きがある場合は情報をホームページ等で公開するほか、連携する競技団体や地域のネットワークのもとに、稼働率の向上を図ります。

###### ② 個人使用における使用申請・使用承認について

- 初回利用時に登録証を発行し、障害のある人もない人も安心、安全かつ円滑に施設の利用ができる環境を整えます。
- 代表団体が運営する障害者専用スポーツ施設の利用証を所持する利用者については、新たに登録証を発行することなく利用ができるように、システムを導入します。また、登録されたデータを収集し、既存施設の利用データと合わせてデータ分析し、利用者のニーズに合わせた施設運営ができるようにします。
- 公の施設としての公益性及び公平性ととも、施設経営の効率性に配慮しながら必要な調整を行います。
- ICカードを活用した入退場管理システムの導入を目指します。
- 減免対象者は、条例等の基準により、受付で対応します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕**

**1 施設の提供**

(4) 利用料金

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]**

**1 施設の提供**

(4) 利用料金

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 2 施設の運営

#### トレーニング室運営業務

専用使用も個人使用もできる施設として、パラアスリート等の競技力向上を強力にバックアップします。

#### 1 個人使用の考え方

個人使用は、管理運営基準に基づき適切な人材配置を行い、専用使用と利用が重複する場合も、障害のある人もない人も安心・安全かつ円滑に利用できる環境を整えます。

なお、管理運営基準では、トレーニング室の利用者は「18歳以上の者及び指定管理者が利用を認めた者」とあります。代表団体は長年パラアスリートの競技力向上に携わってきた経験から、ジュニア期に正しいトレーニングを行うことは、その後のアスリートの競技力の向上に良い影響を与えるとして理解しています。

そこで、パラスポーツの競技力向上を目的とした18歳未満の個人使用については、安全面に配慮した上で認めていきます。

#### 2 業務内容

##### ① 経験豊富な業務従事者の選定

障害者専用スポーツ施設を運営してきた代表団体の実績と経験を活かし、障害の種別や程度に応じたきめ細やかな対応を行い、当施設を利用する全ての利用者が快適に使えるようにします。

- 総括責任者には、保健体育の教員普通免許またはトレーニング関係の公的資格を有し、トレーナー業務を5年以上経験し、更に代表団体が運営する障害者専用スポーツ施設での支援の経験を5年以上持つ信頼できる人材を選定し、利用者にとって円滑な利用と万全な管理体制を構築します。
- トレーナーは、業務従事者の資格要件を充足し、障害の種別や程度に応じた対応ができる人材を配置します。トレーナーには障がい者スポーツ指導員資格を取得させます。
- 通常のトレーニング知識のみならず、あらゆる障害に合わせた効果的なトレーニング計画の作成等、パラスポーツの競技力を向上させるための相談ができ、利用者満足度を高められる人材を育成し、配置します。
- 代表団体の障害者専用スポーツ施設の運営経験と知識を十分に活用し、トレーニングの知識と技術に加え障害のある人への理解を深める研修も実施します。

#### 障害者専用スポーツ施設での経験をもとに安心・安全な管理運営

障害者専用スポーツ施設での経験、知識を基に、障害の種別や程度に応じてトレーニング機器の使用方法等について、的確にわかりやすくアドバイスを行います。また、ニーズに合わせたトレーニングメニューのアドバイスも行います。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 2 施設の運営

#### トレーニング室運営業務

##### ② 効果的なトレーニングのための利用調整と環境作り

- 安全、清潔で快適なトレーニングができるよう、スペースを十分にとりトレーニング機器の配置をします。
- 管理運営基準に基づく、適切な人材配置を行い、機器の利用方法などをわかりやすく説明し、事故やけがの未然防止に努めます。
- 個人で初めて施設を利用する人に対しては、トレーニング及び障害等の知識・経験の豊富な職員を配置し、利用者からの相談に適切に対応できるようにします。
- トレーナーは衛生面や安全に配慮しながら施設内を巡回し、事故を未然に防ぎます。
- 利用者への積極的な声掛けやアドバイス等のコミュニケーションをとり、個人使用者にとって楽しく、安全で快適な環境作りに努めます。
- 専用使用と個人使用が同じ時間帯で重複する場合は、安全面に配慮し、利用者のニーズに合った運用をします。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 3 施設内サービス

#### (1) 受付案内

代表団体の障害者専用スポーツ施設の運営実績を基に、全ての利用者に対して親切でわかりやすい「受付案内」と「相談対応」を行います。

#### 1 実施方針

##### ① 障害のある人への受付案内

- 障害のある人に対しての接遇や対応について研修を実施し、スムーズな受付案内を行います。
- 案内表示の工夫や先端技術の活用を含め、様々な方法でアクセシビリティの充実を図ります。



デジタル技術を活用したコミュニケーションツール

##### ② 様々な利用ニーズに応える総合窓口

- 個人使用・専用使用に対応する総合窓口を設け、施設全体のあらゆる質問・問合せに対応し、「相談窓口」としても機能させます。
- 受付付近にスポーツに関する情報コーナー(書籍・雑誌等)を設置し、利用者が自由に閲覧できるようにします。

##### ③ 東京都障害者総合スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンターとの連携

- 東京都障害者総合スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンターと連携し、情報交換を行いながら円滑な対応を行います。

##### ④ 自家用車等による来館者への対応

- 自家用車等により来館する場合は、味の素スタジアム本体下駐車場を利用していただきます。駐車場管理者と連携して、利用者の利便性や安全性を確保するとともに、障害者手帳保有者への無料駐車券の交付を行います。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ



## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 3 施設内サービス

#### (1) 受付案内

#### 2 利用者満足度向上への具体的な取組

##### ① サービスマネジメントを構築

パラスポーツの競技力向上とパラスポーツの普及振興の場としての機能を発揮するためには、継続的に利用をしてもらうことが重要だと考えています。質の高いサービスを提供することで、利用者満足度の向上を図り、パラスポーツの競技力向上の拠点として、またパラスポーツの普及振興の場として、継続的に利用し続けていただける施設を目指します。

- 代表団体の障害者専用スポーツ施設を運営してきた実績と経験に基づき、障害の種別や程度に応じた対応についての研修など実践的な職員研修を行います。
- ライフ・ワーク・バランスを整え、職員が能動的に業務を行う風通しの良い組織づくりを目指します。職員のモチベーションの向上が、質の高いサービスを生み出します。
- 施設運営に関するマニュアルを作成し、サービスの質を担保し、障害のある人に対する配慮や工夫など、代表団体の障害者専用スポーツ施設を運営してきた経験を最大限に活用します。

##### ② PDCAサイクルに基づく、継続的な業務改善と内部共有

###### ■継続的な業務改善の実施

業務改善の結果や利用者ニーズについては、PDCAサイクルに基づき、見直しを行い、継続的な業務改善と更なるサービス向上につなげます。

###### ■業務改善の徹底した情報共有

業務改善の実施結果は必要に応じて東京都に速やかに報告するとともに、利用者への情報開示に努めます。また、朝礼やミーティングの際に申し送りを行うほか、研修会の開催、マニュアルへの反映等により、全職員への周知を徹底します。

#### (2) 苦情・要望等に対する対応等

利用者の声に耳を傾け、施設運営の改善に努めます。

#### 1 トラブルの未然防止

職員が頻繁に館内を巡回し、適宜利用者とのコミュニケーションを図ることにより、施設の潜在的なクレーム等を吸い上げ、トラブルの未然防止に努めます。

#### 2 サービス充実に向けた取組

利用者から寄せられる意見・要望・苦情を真摯に受け止めます。これらは改善への重要なメッセージであることを認識したうえで、その要望や苦情の原因となった事項の改善に向け適切に対応し、利用者の満足度を高めます。そのための対策は以下のとおりです。

##### ① アンケートへの対応

施設内にアンケートボックスを設置し、利用者から寄せられた苦情や要望等については、その回答内容を速やかに施設内に掲示します。その後は優先度の高いものから順次、きめ細かく業務へ反映させます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕

### 3 施設内サービス

#### (2) 苦情・要望等に対する対応等

##### ② 利用者の声 調整委員会の設置

利用者から寄せられた苦情や要望等のうち、施設運営に大きく影響するものについては、解決するための調整機関として、利用者の声調整委員会を設置します。委員は法律、福祉、障害者スポーツに関係する有識者や専門性を有する人及び団体に構成し、公平かつ中立的な立場からの意見や助言を受け課題解決につなげます。

##### ③ 利用者ニーズの分析

利用者サービスの向上を図るために、毎年、団体や個人の利用者を対象にニーズ調査を実施し、調査結果は調査・研究機関や有識者等と連携した分析を行います。利用者の要望や意見を事業運営に適切に反映させることにより、利用者の利便性や快適な施設利用をより一層促進します。

##### ④ 委員会の設置

障害者スポーツの拠点である東京都障害者総合スポーツセンターと東京都多摩障害者スポーツセンターと定期的な委員会を開催し、障害のある人へのスポーツ活動などにおける情報交換を行いより良いサービス提供を行います。

##### ⑤ 多様な方法によるニーズの把握と改善策

- アンケートボックスの設置、利用者満足度調査により利用者ニーズを把握します。
- 利用者との運営懇談会を開催し、寄せられた意見や要望等を幅広く取り入れる等、利用者ニーズに配慮した事業運営を進めます。
- 障害者専用スポーツ施設の運営で培った知識と経験を基に、施設における運用マニュアルを作成し、障害のある人に対しての配慮や工夫を含めサービスの質の向上に努めます。

#### 様々なシーンでのアンケートの実施

複数のシーンでアンケートを実施し、積極的に利用者の意見を集め、ニーズの把握に努めます。

アンケートボックス

受付

共有スペース

利用団体アンケート

運営懇談会

イベント等終了時



### 3 東京2020大会アーカイブ資産の展示管理とスポーツ関連資料の提供

- 東京2020大会に関する物品や資料など、アーカイブ資産を適切に保管・管理し、未来へつなげるため、これらの展示を行います。
- 保管に当たっては、東京都に管理状況を報告します。
- 利用者がスポーツに関する情報を自由に得られるよう、書籍や雑誌、関係施設の広報誌等の情報誌を配架します。

#### パラリンピックの関連展示

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーとして、大会の感動を次の世代へ継承していくため、エントランスなどにパラリンピックの記録と記憶を伝える展示スペースを設置します。

【主な展示内容】パラリンピック・ムラールやパラリンピック聖火リレーのトーチ等

「スポーツTOKYOインフォメーション」HPより



事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]**  
**1 事業の提供**

**(1) スポーツ振興事業**

**【実施方針】**

東京都スポーツ推進総合計画の「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと、障害のある人もない人もスポーツを楽しむ「スポーツ都市東京」を目指し、スポーツの力による共生社会の実現に向けて取り組みます。

**実施方針の実現に向けた具体的な事業内容**

**1 パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートが競技力向上を目指す事業の実施**

- 強化指定選手や今後強化指定選手を目指すアスリート、全国大会出場等を目指すチームに対して、トレーニングや栄養管理等の講習会を実施します。選手が所属するパラスポーツ競技団体等とも連携し、外部講師による専門的なアドバイスや実践的な講習会の受講を通じて、それぞれの目標に向けた競技力向上を目指します。
- 公益財団法人日本パラスポーツ協会の協力のもと、「障がい者スポーツコーチ講習会」や「障がい者スポーツトレーナー講習会」など指導者を対象にした講習会を実施します。
- パラスポーツ競技団体と協力して、競技や種目に特化した指導者講習会を開催します。
- 団体運営を行う上で必要な知識や情報を提供する相談窓口を設置し、競技団体の組織基盤の強化を図ります。

**実績に基づいた競技力向上事業の実施**

代表団体は東京2020大会に向けたパラアスリート対象の競技力向上事業を行ってきました。その経験と実績に基づき、当施設においてもパラアスリートの更なる競技力向上を目指した事業を実施します。



トレーナーによる個別指導 ストレッチ等の指導

**2 障害のある人がスポーツに取り組みやすいスポーツ教室を実施**

- スポーツを実施することに不安を抱いている障害のある人等が気軽に参加し、スポーツの楽しさを知る機会を創出します。
- パラスポーツ競技団体やチームへの紹介等を行い、継続的なスポーツ活動を支援します。
- 代表団体の有するノウハウや経験から、健康づくりを目的としたものから、競技レベルに対応したものまで、あらゆる教室実施が可能です。潜在的なニーズに着目しながら事業内容を考え、様々なニーズに対応します。
- スポーツ活動を実施する上で課題となるアクセス面も考慮しながら、代表団体がオンラインや動画配信等を行い、自宅でもできるトレーニングやパラスポーツの紹介なども行っていきます。

**障害者専用スポーツ施設での関係団体との連携や指導経験を活用した事業運営**

- 代表団体は障害者専用スポーツ施設での地域交流事業を通して、様々な団体との関係性を構築しています。その実績をもとに当施設においても多くの団体と協力しながら実施します。
- 代表団体職員は障害者専用スポーツ施設での障害のある人への指導経験を基に、障害の種別・程度に応じた丁寧かつ確かな対応を行っています。



事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
1 事業の提供**

(1) スポーツ振興事業

**3 障害のある人もない人も一緒に参加できるパラスポーツ体験会の実施**

- 初めて競技を行うことや、競技を観ること、ボランティア等で参加すること、仲間を作ること等、「する」「みる」「支える」「つくる」を始めるきっかけとなるようなパラスポーツ体験会を実施します。
- 当施設に設置する備品を使用した競技を紹介し、実際に活用したパラスポーツ体験会を実施します。

**障害のある人もない人も一緒に楽しむ事業の実施**

代表団体は、障害のある人もない人も一緒にパラスポーツを楽しみ、お互いを理解する事業を多数運営しています。その実績と経験を活かし、当施設でも様々なパラスポーツを紹介するとともに、障害のある人もない人も一緒にパラスポーツを実施できるように、両者のパイプ役(かけはし)となり、新しい発見をしていただける事業運営を行います。



パラスポーツ体験会イメージ

**4 多様なパラスポーツクラブやボランティア人材等の協力のもと実施するパラスポーツ体験等プログラム**

- 関係団体の協力のもと、パラスポーツやユニバーサルスポーツのほか、障害のある人もない人も一緒に実施できるスポーツ・レクリエーションの紹介をし、スポーツを知る機会を創出します。
- 障害のある人もない人も一緒に実施できるコンテンツを紹介しながら、人と人をつなぐスポーツの力を発揮し、共生社会の実現を目指します。

**多様なニーズに応じた事業の開催**

健康の維持増進、趣味や余暇で行うスポーツ、競技スポーツとしての取組まで、多様なニーズに合わせたスポーツプログラムを提供します。



**協力・関係団体**

- |                      |
|----------------------|
| 東京都障害者スポーツ指導者協議会     |
| 一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 |
| 一般社団法人東京都レクリエーション協会  |

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	<b>事業名 個人向けトレーニングプログラム</b> 競技力向上(個人) 座学とトレーニングプログラム I 座学 ①栄養学②トレーニング理論 II トレーニング ③実践トレーニング(自重)④実践トレーニング(マシン)⑤ケア・ストレッチ	幼児・子供	5回	10名		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		女性							
		働き盛り世代				収入合計	参加料	協賛金	その他※
		障害者							
2	<b>事業名 個人向けトレーニングプログラム(オンライン)</b> 競技力向上(個人) 座学とトレーニングプログラム I 座学 ①栄養学②トレーニング理論 II トレーニング ③実践トレーニング(自重)④実践トレーニング(マシン)⑤ケア・ストレッチ	幼児・子供	5回	10名		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		女性							
		働き盛り世代				収入合計	参加料	協賛金	その他※
		障害者							
3	<b>事業名 団体向けトレーニングプログラム</b> 競技力向上(団体) 座学とトレーニングプログラム I 座学 ①栄養学②トレーニング理論 II トレーニング ③実践トレーニング(自重)④実践トレーニング(マシン)⑤ケア・ストレッチ	幼児・子供	3回	5名 × 2団体		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		女性							
		働き盛り世代				収入合計	参加料	協賛金	その他※
		障害者							
4	<b>事業名 団体向けトレーニングプログラム(オンライン)</b> 競技力向上(団体) 座学とトレーニングプログラム I 座学 ①栄養学②トレーニング理論 II トレーニング ③実践トレーニング(自重)④実践トレーニング(マシン)⑤ケア・ストレッチ	幼児・子供	3回	5名 × 2団体		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		女性							
		働き盛り世代				収入合計	参加料	協賛金	その他※
		障害者							
5	<b>事業名 障害者スポーツトレーナー講習会</b> (公財)日本パラスポーツ協会主催の上記講習会を開催していきます。	競技団体	年1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		収入合計				参加料	協賛金	その他※	
6	<b>事業名 障害者スポーツコーチ講習会</b> (公財)日本パラスポーツ協会主催の上記講習会を開催していきます。	指導者	年1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		収入合計				参加料	協賛金	その他※	
7	<b>事業名 障がい者スポーツトレーナースキルアップ研修会</b> (公財)日本パラスポーツ協会主催の上記研修会を開催していきます。	指導者	年1回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		収入合計				参加料	協賛金	その他※	
8	<b>事業名 サウンドテーブルテニス審判員初級者養成講習会</b> 全国障害者スポーツ大会種目であるサウンドテーブルテニスにおける審判講習会を行います。	指導者	年1回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
		収入合計				参加料	協賛金	その他※	

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
9	<b>事業名 ポッチャ審判講習会</b> ポッチャを行う上で必要な審判を育てるための講習会を実施していきます。	指導者	年1回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	<b>事業名 サウンドテーブルテニス審判員フォローアップ講習会</b> サウンドテーブルテニス審判における技術向上のための講習会を行います。	指導者	年1回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
11	<b>事業名 競技団体相談事業</b> 競技団体における体制強化やガバナンス等における相談窓口を設置します。	競技団体	月2回	2団体		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	<b>事業名 卓球教室</b> 障害のある人が取り組みやすく、多くの人が楽しめる「卓球教室」を開催します。パラスポーツ団体、地域の卓球クラブの協力を得ながら開催します。	全世代 障害者	年3回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	<b>事業名 バドミントン教室</b> 個人種目として人気競技であるバドミントンを地域クラブやパラスポーツ団体の協力を得ながら開催します。	全世代 障害者	年3回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
14	<b>事業名 ダンス(ヒップホップ系)</b> 音楽に合わせて、体を楽しく動かしていけるダンス教室を開催します。	全世代 障害者	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
15	<b>事業名 ポッチャ教室</b> パラリンピック競技であるポッチャを楽しく、みんなで行っていきます。パラスポーツ団体の協力を得ながら開催します。	全世代 障害者	年2回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
16	<b>事業名 お家で簡単、健康スポーツ動画(個人)</b> <b>自重トレーニング編</b> 自宅で簡単にできる自重トレーニングの動画配信を行います。	全世代 働き盛り世代 高齢者	年2回	—		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
17	<b>事業名 お家で簡単、健康スポーツ動画(個人)</b> <b>ボディケア編</b> 自宅で簡単にできるボディケアの動画配信を行います	全世代 働き盛り世代 高齢者	年2回	—		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
18	<b>事業名 自宅でできるトレーニング教室(個人)</b> 自宅でできるトレーニングをオンライン配信を行います。 当施設と自宅を繋いで一緒にトレーニングを行っていきます。	全世代 働き盛り世代 高齢者	年3回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
19	<b>事業名 施設で簡単スポーツ教室(団体:障害者福祉施設向け)</b> 障害者福祉施設を対象としたオンライン配信のスポーツ教室を行います。施設にいながら一緒にスポーツを楽しめます。	全世代 働き盛り世代 高齢者	年3回	10団体		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
20	<b>事業名 車いすバスケットボール体験教室</b> パラスポーツ競技団体の協力のもと、車いすバスケットボール体験教室を行い、競技の魅力と楽しさをお伝えします。	幼児・子供 女性 働き盛り世代 高齢者	3回	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
21	<b>事業名 シットイングバレー体験教室</b> パラスポーツ競技団体の協力のもと、シットイングバレー体験教室を行い、競技の魅力と楽しさをお伝えします。	幼児・子供 女性 働き盛り世代 高齢者	3回	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
22	<b>事業名 ゴールボール体験教室</b> パラスポーツ競技団体の協力のもと、ゴールボール体験教室を行い、競技の魅力と楽しさをお伝えします。	幼児・子供 女性 働き盛り世代 高齢者	2回	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
23	<b>事業名 車いすフェンシング体験教室</b> パラスポーツ競技団体の協力のもと、車いすフェンシング体験教室を行い、競技の魅力と楽しさをお伝えします。	幼児・子供 女性 働き盛り世代 高齢者	2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
24	<b>事業名 ブラインドサッカー体験教室</b> パラスポーツ競技団体の協力のもと、ブラインドサッカー体験教室を行い、競技の魅力と楽しさをお伝えします。	幼児・子供 女性 働き盛り世代 高齢者	2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
25	<b>事業名 東京都障害者スポーツ指導者協議会協力 パラスポーツ体験教室</b> 東京都障害者スポーツ指導者協議会の協力のもと、パラスポーツ体験会を開催します。	全世代	年3回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
26	<b>事業名 東京都スポーツ推進委員協議会主催 パラスポーツ体験教室</b> 東京都スポーツ推進委員協議会が中心となって、パラスポーツ体験会を開催します。手軽にできるスポーツ等の紹介を行います。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
27	<b>事業名 東京都レクリエーション協会主催 パラスポーツ等体験教室</b> 東京都レクリエーション協会が中心となって、パラスポーツやスポーツ・レクリエーション体験会を開催します。手軽にできるスポーツ・レクリエーション等の紹介を行っていきます。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
28	<b>事業名 地域スポーツクラブ主催 パラスポーツ体験教室</b> 近隣3市にある地域スポーツクラブが中心となって、パラスポーツ体験会を開催します。地域スポーツクラブならではのスポーツ紹介等を行います。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
29	<b>事業名 体育大学・医療福祉系大学主催 パラスポーツ教室</b> 大学が中心となって、パラスポーツ教室を開催します。専門大学ならではのスポーツ学などの専門的知識をわかりやすく伝えます。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
30	<b>事業名 近隣高校の生徒によるポッチャ教室</b> 近隣高校の協力のもと、ポッチャ教室を開催します。高校生との交流を含めた事業を展開していきます。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。						<b>総合計</b>		支出合計①	
						実施回数	参加人数	収入合計②	
						91	670		

※参加人数には、団体やオンライン参加は含まれません。



**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]**  
**1 事業の提供**

(2) スポーツの日記念事業









**【実施方針】**

味の素スタジアムと武蔵野の森総合スポーツプラザと連携し、周辺一帯でスポーツの日記念事業を開催します。  
 当施設の付加価値を活かし、東京2020大会のレガシーとなる事業を展開します。

**1 実施方針の実現に向けた具体的な事業内容**

- 当施設、味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザの3施設で同日開催とし、3施設合同でのスタンプラリー開催を企画するなど、一体感のあるイベントを実施します。
- 3施設それぞれの特性を活かした体験会やプログラムを提供します。
- 代表団体がこれまで培ってきたノウハウを活かし、東京2020大会で使用された用具を使った競技の体験会や、障害のある人もない人も一緒に楽しむことができるイベントを実施します。各種体験会やイベントを通して、障害のある人もない人もともにスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- 代表団体のネットワークを活用し、パラスポーツ競技団体と連携した多様なプログラムを企画します。
- 障がい者スポーツ指導員を配置し、案内や誘導などのサポートを行い、円滑で安全な運営を目指します。
- 個人使用施設の無料開放を行い、普段当施設を利用していない人の施設への来館促進と、都民がスポーツをするきっかけ作りを行います。

**スポーツの日体験会 実施内容案**

■ 当施設	■ 武蔵野の森総合スポーツプラザ	■ 味の素スタジアム
 車いすラグビー	 車いすバスケットボール	 ラグビー
 ゴールボール	 車いすバドミントン	 ネオホッケー
 サウンドテーブルテニス	 バスケットボール	 インディアカ
 車いすフェンシング	 ボッチャ	 ブラインドサッカー
*その他、フライングディスクやペガールボール、eスポーツ等		

**2 地域のネットワークを活かした、広域への広報**

- 味の素スタジアムと武蔵野の森総合スポーツプラザや東京都、周辺自治体の広報と連携し、広く東京都民への周知を図ります。
- 味の素スタジアムと武蔵野の森総合スポーツプラザの各種広報媒体を活用し、周辺地域に対して特に手厚く周知を図ります。
- 東京都障害者スポーツセンターと連携し、パラスポーツ関係団体等への周知を図ります。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	<b>事業名 車いすラグビー体験</b> 年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめる車いすラグビー体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	<b>事業名 ゴールボール体験</b> 東京2020大会で使用した用具を使い、年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめるゴールボール体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	<b>事業名 ボッチャ体験</b> 年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめるボッチャ体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	<b>事業名 車いすフェンシング体験</b> 東京2020大会で使用した用具を使い、年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめる車いすフェンシング体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	<b>事業名 サウンドテーブルテニス体験</b> 年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめるSTT体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	<b>事業名 レクリエーション広場</b> フライングディスクやベガボールなど、年齢や障害の有無を問わず誰でも楽しめるレクリエーションプログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	<b>事業名 eスポーツ</b> 年齢や障害の有無を問わず、誰でも楽しめるeスポーツ体験プログラムを実施します。	全世代	事業当日 1回/日	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。</li> </ul>						支出合計①			
						<b>総合計</b>		実施回数	参加人数
		7回	延べ7,000人						

提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

1 事業の提供

(3) 自主事業

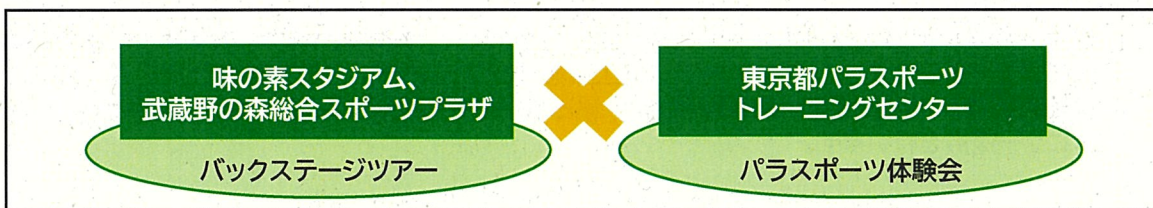
【実施方針】

施設の特性や近隣施設を活用し、都民に対して新たな体験を提供するための魅力的なプログラムを展開します。利用を促進することで、施設の有効活用を図ります。競技力向上のプログラムとしても提案を行い、実施します。

勤務体制は通常営業時と同じ人員配置とし、専用使用・個人使用と並行して実施することで、施設収益力をアップさせます。

実施方針の実現に向けた具体的な事業内容

1 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザとのパッケージプランを展開



- 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザのバックステージツアーと、当施設でのパラスポーツ体験会等をパッケージプランとして実施します。
- パッケージプランを通じてパラスポーツやその施設の理解を深めていただきます。
- 座学(講習等)を含めたコンテンツと合わせて、学習、研修としての効果を高めるプログラムを実施します。

プログラム一例(案)

学校等に向けた教育的プログラム
企業などに向けた社員教育やCSR活動等のプログラム

2 団体のニーズに合わせて、専属スタッフが対応

- 平日日中に利用する福祉施設や住民団体等のニーズに合わせて、職員によるパラスポーツ体験などのプログラムを提供します。
- 代表団体の職員は、障害者専用スポーツ施設での経験や知識から、パラスポーツでのルールの工夫をはじめとする様々なアイデアを持っています。そのアイデアを活用し、専用使用時の活動の充実を図ります。
- 通常の専用使用を利用者ニーズに合わせてより楽しく、より充実したものにする事で、継続的な専用使用につなげていきます。
- 日常的にスポーツ活動が実施できるようなアドバイスも合わせて行います。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

### 1 事業の提供

#### (3) 自主事業

#### 3 競技力のさらなる向上を目指した事業の実施

##### ① パーソナルトレーニング

- パラアスリート等の競技力向上のため、パーソナルトレーナーが個別のトレーニングメニューを作成し、直接指導します。
- 障害の種別・程度に応じて、トレーニング方法等の工夫をしていくことが必要な場合があります。パーソナルトレーナーと一緒にあれば、その工夫や方法を一緒に考えていくことができます。効率よく、効果的なトレーニング方法とその実践が競技力向上につながります。
- 障害者専用スポーツ施設での実績や、様々なアイデアを用いてトレーニング方法やメニューの提供を行います。

##### ② パーソナルケア

- 競技力向上においては、トレーニングをするだけでなく、その後のケアも重要になります。障害の種別・程度に応じてパフォーマンス向上に必要なストレッチやケア方法を個別指導します。
- 障害者専用スポーツ施設での実績を基に、様々なアイデアや用具を用いてストレッチ方法等のメニュー提供を行います。

#### 4 東京CUP卓球大会の開催

- 関係団体や東京都障害者スポーツセンターと連携し、障害のある人もない人も参加できる卓球大会を開催します。
- 東京CUP卓球大会では、競技力別(一部障害別)のグループに分かれ、団体戦と個人戦を行い、選手相互の交流と親睦を図ります。
- スポーツの振興に寄与するとともに、障害の理解や障害のある人の社会参加を促進します。



東京CUP卓球大会

#### 5 開業イベントの実施

##### ① 開館式典に対するサポート(※今後、東京都と要協議)

- 指定管理者として、東京都実施の式典を全面サポートします。

##### ② 開業前の内覧会とプレオープンの実施

- パラスポーツ競技団体・パラスポーツを振興する団体向けの内覧会と都民向けの内覧会を実施します。
- 施設の開館に先立ち、参加者限定での施設利用体験を行い、職員のトレーニングの機会とします。万が一運営に課題があった場合は、速やかに改善します。



開館式典の実施イメージ

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	事業名 施設見学&体験会パッケージプラン(学校用) 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザのバックステージツアー等見学と当施設でのパラスポーツ体験等をセットで行うプランです。	学校	5回程度	1団体50人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	事業名 施設見学&体験会パッケージプラン(企業用) 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザのバックステージツアー等見学と当施設でのパラスポーツ体験等をセットで行うプランです。	企業	5回程度	1団体20人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	事業名 専属スタッフオプションプラン 障害者福祉団体等に向けた専用使用時のオプションプラン。 活動でレクリエーションスポーツの提供などの希望があった場合にスタッフが対応します。	障害者	月2回程度	1団体	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	事業名 パーソナルトレーニング パーソナルトレーナーがつきながら、メニュー提供やトレーニング方法のアドバイスをを行います。	障害者 女性 動き盛り世代 高齢者	年48回	2人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	事業名 パーソナルケア&リハビリ 運動後のリハビリにおける対応方法や必要な知識など指導していきます。	障害者 女性 動き盛り世代 高齢者	年48回	2人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	事業名 東京CUP卓球大会 障害のある人もない人も参加できる卓球大会を開催します。	障害者 全世代	年1回	200人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
総合計		実施回数	131	参加人数 742	繰入額①				収入総合計③
					支出総合計②(①を含む。)				差引④(③-②)

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

※専属スタッフオプションプランの参加人数は含まれません。

## 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1 事業の提供

### (4) 周辺連携事業

#### 【実施方針】

周辺地域や団体とのネットワークを活用し、パラスポーツの競技力向上と普及啓発を実現させるため、イベント等を開催します。

#### 実施方針の実現に向けた具体的な事業内容

##### 1 サッカー(フットサル)教室の開催

クラブチームや大学等と連携し、障害のある人もない人も参加できるサッカー教室等を実施します。親子で参加できる教室や障害の種別や程度に応じた教室を実施することで、様々なニーズに対応します。味の素スタジアムと連携して、屋内外での教室開催を目指します。



##### 2 バドミントン教室の開催

地域で活動しているクラブチームと連携して、障害のある人もない人も楽しめる参加できるバドミントン教室を実施します。親子で参加できる教室や障害の種別や程度に応じた教室を実施することで、様々なニーズに対応します。



##### 3 オリピック・パラリンピックパークとして近隣施設とのイベント開催

味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ、武蔵野の森公園、東京都パラスポーツトレーニングセンターが一体となったイベントの開催実施に向けて連携を図ります。オリンピック競技やパラリンピック競技の体験ができるコーナーやスポーツを楽しむ一大パークとして都民が参加できるイベントを目指します。

#### 東京2020会場を「オリンピック・パラリンピックパーク」へ

武蔵野の森公園、武蔵野の森総合スポーツプラザ、味の素スタジアムを含むエリア(調布市、府中市、三鷹市)に「武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク」の名称を付与されています。

「スポーツTOKYOインフォメーション」HPより



##### 4 研修や講習会の開催

障害のある人への接遇や対応などを含めた講習会を行います。多くの人にパラスポーツに興味を持っていただくとともに、障害への理解を深めていただき共生社会の実現を目指します。

#### 研修会・講習会

スポーツ施設における障害のある人の利用促進マニュアルを作成した実績を基に、研修内容を提供します。また、講義では実際の障害者専用スポーツ施設での事例をもとに工夫し、参加者の理解を深めます。



事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
1	<b>事業名 親子サッカー教室(知的、デフ)</b> 近隣サッカークラブの協力のもと、親子サッカー教室を開催いたします。 ※開催場所によりフットサル教室に変更	障害者	月1回	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
						収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	<b>事業名 大学サッカー部と一緒にサッカー教室</b> 近隣大学のサッカークラブと一緒にサッカーを楽しみます。大学生との交流も行っていきます。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
						収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	<b>事業名 親子バドミントン教室</b> 近隣バドミントンクラブの協力のもと、親子バドミントン教室を開催します。	障害者	月1回 程度	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
						収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	<b>事業名 バラレガシーイベント</b> オリンピック・パラリンピックパークとして周辺地域・近隣施設一体となってイベント開催を目指します。	全世代	年1回	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
						収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	<b>事業名 障害者スポーツボランティア講習会</b> 座学と実技を交えた障害者スポーツボランティア講習会を開催します。	全世代	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
						収入合計	参加料	入場料	その他※	
●	内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。	●	<b>総合計</b>	実施 回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
						29	940	支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)
●		支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。								
●		繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。								

## 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

### 1 事業の提供

#### (5) 利用者に対するサービス提供事業

##### 【実施方針】

施設利用者の満足度を高め、再来訪率向上を目指します。

パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートの利便性を高めるサービス提供に努めるとともに、施設の利用者が快適に過ごせるような環境作りを目指します。

#### 1 個人ロッカー、団体ロッカーの設置

- 大きな荷物を持たずに、手軽に継続的に利用できるよう、プライベートロッカーを設置します。個人用、団体用の2種類を準備し、月額料金で提供します。

#### 2 自動販売機の設置

- 自動販売機を設置し、スポーツ時の水分補給等に必要な飲料提供を行います。また、利用者ニーズの高い食料品(パンやプロテイン入り栄養補給食品など)の自動販売機も導入いたします。
- ユニバーサルデザイン機種、カード決済ができる機種の導入をいたします。
- 一部機種は身体障害者福祉法、母子及び寡婦福祉法の規定の趣旨を踏まえて、近隣社会福祉協議会の地域貢献型自動販売機を設置し、地域の福祉に貢献します。

#### 3 子育て世代の利用促進

- 様々な人が安心してスポーツを楽しむ時間を共有できるよう、必要に応じて集会室を子育てスペースとして利用することを奨励します。  
※子育てスペースとは、授乳やおむつ替え等を行うための場所です。
- 施設内の集会室を子育てスペースとして利用してもらうことで、子育てをしている利用者が安心して活動できる環境を整え、活動時間の充実や、運動前後の準備や対応等の時間を確保できるように後押しします。
- ベビーカー置き場を設け、子育て世代の利用を応援します。

#### 4 近隣福祉施設のケータリング販売

- 近隣の障害者福祉施設によるケータリング販売を行い、利用者へのサービス提供とともに、障害への理解啓発を行います。

#### 5 補助犬用トイレの設置

- 障害のある人が補助犬を同伴する際、補助犬用トイレを設置することで利用者が安心して施設を利用できる環境を整えます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ



提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	<b>事業名 個人ロッカー設置事業</b> 大きな荷物を持たずに、手軽にかつ継続的に利用できるよう、プライベートロッカーを設置します。  台数：4口(利用希望に応じて増設予定) 運営時間：営業時間内 施設職員により行います。		支出	収入
2	<b>事業名 団体ロッカー設置事業</b> 大きな荷物を持たずに、手軽にかつ継続的に利用できるよう、プライベートロッカーを設置します。  台数：3口(利用希望に応じて増設予定) 運営時間：営業時間内 施設職員により行います。		支出	収入
3	<b>事業名 自動販売機の設置事業</b> スポーツ時の水分補給等に必要飲料の提供や、利用者ニーズの高い食料品(パンやプロテイン入り栄養補給食品など)等の自動販売機の設置を行います。 ユニバーサルデザインかつキャッシュレス決済のできる機種で、近隣社会福祉協議会の地域貢献型自動販売機を設置します。		支出	収入
4	<b>事業名 ケータリング事業</b> 近隣の障害者福祉施設によるパンなど軽食のケータリング販売を行います。利用者のニーズに応えるとともに、障害への理解啓発を行います。		支出	収入
● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。 ● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			繰入額①	収入総合計③
			支出総合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

## 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 2 施設の事業を支える仕組み

### (1) 広報

18施設とのネットワーク、武蔵野の森総合スポーツプラザ、味の素スタジアムとも連携して、効率的かつ相乗効果の高い広報の仕組みを構築するとともに、パラスポーツの拠点として当施設の認知・関心の拡大に努めます。

#### 1 開業に向けての広報活動

##### ① ホームページとTwitterを1か月前までに開設

- 当施設のホームページとTwitterを開業1か月前までに開設し、施設の概要や事業、開業に向けた準備状況、開業イベントの情報等を発信します。
- ホームページの作成にあたっては、スマートフォン向けサイトの提供も含め、障害のある人もない人も全ての人が使いやすいようウェブアクセシビリティの確保に取り組みます。

##### ② 東京都の広報や近隣地域の広報誌など幅広い媒体を用いた告知活動

- Twitterの活用、東京都広報媒体への記事掲載、近隣地域に向けた広報を積極的に行います。
- 18施設のネットワークの取組に参画し、相互に事業情報等の発信に努めるほか、障害者のスポーツの拠点である東京都障害者総合スポーツセンターや東京都多摩障害者スポーツセンター、さらに武蔵野の森総合スポーツプラザや味の素スタジアムと連携した広報を行います。

#### 2 施設に関する情報の発信

- 毎年度「東京都パラスポーツトレーニングセンター要覧」を作成し、当施設の取組をわかりやすくまとめ発行します。
- 味の素スタジアムと武蔵野の森総合スポーツプラザが合同で作成しているイベント情報掲載チラシ(3か月に1度イベントスケジュールを掲載)に当施設の情報を掲載し、既存の地域の関係各所の配布ネットワークを活用して広報するほか、味の素スタジアムと連携して地元自治体の広報誌への広報も実施します。
- 障害者のスポーツの拠点である東京都障害者総合スポーツセンターや東京都多摩障害者スポーツセンターと一体となって情報発信を行います。また、スポーツ、エンターテインメント等多様な活動の場である武蔵野の森総合スポーツプラザや味の素スタジアムと連携し、幅広いスポーツ体験機会の総合的な発信をしていきます。



館内掲示  
(イメージ)



イベント情報掲載チラシ  
(イメージ)

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
2 施設の事業を支える仕組み

(1) 広報

3 施設ホームページの運用

- 当施設のユーザーフレンドリーなホームページを作成し、利用者にはわかりやすい情報提供に努めます。
- 施設の概要や事業、利用案内、味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザでの大規模イベント情報や、メンテナンス等による休館日、工事に伴う休館の状況、施設予約状況等、利用者にとって必要かつ有益な情報を随時更新していきます。
- ホームページの作成にあたっては、障害のある人もない人も全ての人が使いやすいよう、スマートフォン向けサイトの提供も行うとともに、総務省「みんなの公共サイト 運用ガイドライン」における「5 ウェブアクセシビリティ方針の策定と公開」に基づき、ウェブアクセシビリティ方針を策定・公開し、日本産業規格「JIS X8341-3」の適合レベルAAに準拠するよう努めます。
- 味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザのホームページと相互リンクを貼る、検索エンジンを最適化(SEO)するなどの取組により、サイト訪問者を増加させ、施設認知の向上を図ります。

4 SNSの活用

- 施設のTwitterアカウントを開設し、当施設での教室やイベント情報、メンテナンス等による休館日や工事休館の状況などの施設利用情報、味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザでの大規模イベント情報を発信します。
- 東京都障害者総合スポーツセンターや東京都多摩障害者スポーツセンター、味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザのツイッターも相互にリツイートすることにより、相互のフォロワー(ツイートを受け取るアカウント)に情報を拡散します。

5 都庁広報への協力

- 東京都が行う各種広報活動について、原稿作成やチラシ送付等により協力します。



広報東京都

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

### 2 施設の事業を支える仕組み

#### (2) 業務の品質管理

利用者満足度調査及び地域住民との意見交換によるニーズの把握とともに、味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザとも情報を共有し、適切に業務の品質管理を行います。

#### 1 問い合わせへの対応

- 問い合わせについては、マニュアルを作成し、迅速かつ的確に対応します。また、マニュアルの作成にあたっては、日々の業務フローと照らし合わせ、常にアップデートをすることで、適切かつ確実に対応します。

#### 2 外部資金導入等による事業の充実

外部資金導入により指定管理料の縮減を図るとともに、事業の充実を図ります。

- スポーツの日記念事業や周辺連携事業において、近隣地域の企業、各種団体等から、賛同を得るよう努めます。イベント用品やボランティアスタッフ等の提供について広く募り、事業内容の充実と参加者の満足度向上、参加者の拡大を図ります。
- その他、公共団体の助成金制度の活用なども含め、多様な方法による財源の確保に努めます。

#### 3 ユニークベニューとしての活用

「TOKYOスポーツレガシービジョン」で掲げられている『レガシー、未来に受け継いでいく、新たな体験の提供』を当施設においても実現させます。

- 東京2020大会の会場となった武蔵野の森総合スポーツプラザや様々な国際大会の会場となる味の素スタジアムと一体となり、パッケージプランなどの事業展開を行いながら、パラスポーツの一大拠点としてさらなる付加価値を生み出し、都民・国民にレガシーとして未来に受け継ぎます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組**

**【全体方針】**

**当施設ではパラスポーツの楽しさや魅力を多くの都民に届けるため、18施設とのネットワークを活用し、情報発信やノウハウの共有を行っていきます！**

代表団体は障害者専用スポーツ施設を運営し、多くのパラスポーツ振興を行ってきました。今後も障害のある人にも、ない人にもスポーツの魅力を伝え続け、スポーツ都市東京の実現を目指していきます。実績と知識を最大限に発揮し、よりよい施設運営をしながら18の都立スポーツ施設との連携を図り、パラスポーツにおける情報やノウハウを共有し、都民にかけがえのない価値を提供し一人一人が健康で豊かに暮らせる東京を目指していきます。

**1 情報発信力の強化**

- 東京都障害者スポーツセンターのネットワークを活用し、障害のある人にスポーツに関する情報を届けることにより、スポーツ参加を促していきます。
- イベント開催では味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザを始めとする18施設とのネットワークを活用し、東京都全域への周知を行い、パラスポーツ普及振興を行います。
- 18施設のネットワークを活用して、各施設でのパラスポーツ事業に関する情報を収集し、発信を行います。
- HPやSNS等を活用し、利用情報等の更新を行い、最新情報を配信し、利用者にはいち早く届くように努めます。

東京都障害者  
スポーツセンターと  
連携した情報発信

イベント開催時等に  
おける近隣施設等との  
連携した情報発信

18施設のネットワーク  
を活用した情報発信

HP・SNS等を活用した  
利用情報等における  
情報発信

**2 一体的な取組によるスポーツ振興**

- 東京都障害者スポーツセンターと情報交換等を行い、障害のある人がスポーツ活動を継続的に実施できる環境作りに努めます。(例:当施設の休館日を火曜日設定等)
- イベント等開催時には関係団体の協力を得ながら、味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザと一体となった事業運営を行い、近隣地域と連携していきます。
- 味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザとのパッケージプランを開催し、当施設の施設運営の工夫や役割を伝えつつ、パラスポーツ体験会等を通じてスポーツの魅力として新たな発見ができるように努めます。

休館日等の調整による  
継続したスポーツ機会  
の創出

関係団体の協力を  
得ながら事業運営

近隣地域、施設等の  
協力を得ながらの  
事業運営

施設立地条件を  
活用したパッケージ  
プラン等の開催

**3 ニーズ対応力の強化**

- パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートにおける競技力向上の場として適切な施設提供をしていくとともに、様々な事業を行います。
- 東京都障害者スポーツセンターと定期的な情報交換の場となる委員会を設け、障害のある人のスポーツ活動におけるニーズに対応します。
- 様々なアンケート調査等を行い、利用者ニーズを把握しサービス向上を目指します。
- 都立スポーツ施設での安心・安全な利用につなげるため、18施設のネットワークを活用して、障害への配慮や工夫などの様々な情報提供、共有に努めます。また、各施設のパラスポーツ事業の情報を集め、利用者に向けて発信します。

安定的、継続的な  
練習環境の確保と競技  
力向上事業の開催

東京都障害者スポーツ  
センターとの定期的な  
委員会における情報共有

アンケート調査等を  
活用したニーズ把握

18施設のネットワーク  
を活用した安全かつ  
円滑な施設運営

**障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむことを通じ、共生社会の実現を！**

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

#### 【実施方針】

業務ごとにライン化した組織体制とし、責任範囲を明確にします。その明確な責任分担に基づき、それぞれの責任者の指示・安全管理等により適切に業務を遂行し、効率的・効果的な施設運営を行います。

構成団体の適性や実績を活かした業務体制を構築していきます。

#### 1 代表団体の経験と知識を活かした事業運営、接遇研修や人材育成

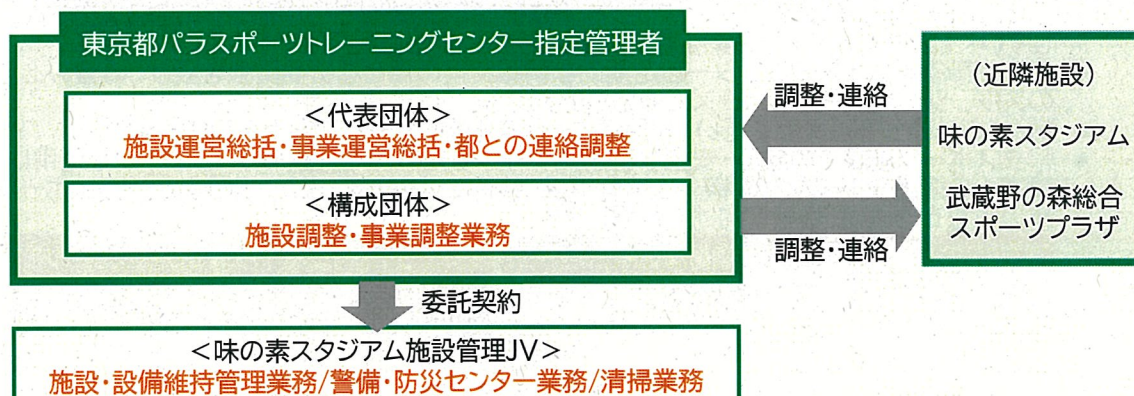
- 代表団体は障害者専用スポーツ施設の運営経験があり、障害のある人を対象とした事業の運営に豊富な知識と経験を有しており、その知見を活かし施設運営を行います。
- 経験と知識を構成団体と共有するとともに、職員研修などを行うことで、施設全体でより良いサービス提供を行うことができる体制を構築します。

#### 2 構成団体の適性及び実績による、スムーズな施設立ち上げと専門性の高い人材配置

- 施設管理等を統括する構成団体と施設管理JVの実績により、当施設運営にふさわしい適性を有しています。
- 警備・防災センター業務、施設設備維持管理業務、清掃業務などを両施設を一体的に担ってきた、施設管理JVに業務を委託することで、20年以上経過した建物や設備等に精通した人員配置により、効率的で迅速かつ適切な対応が可能です。
- 構成団体は、技術職員を配置し、委託業務における指示、監督を適切に行うことが可能です。さらに、設備の故障など異常時には、構成団体の経験豊富な技術職員の応援など、十分な保守管理の体制が確保できます。
- 地元の警察・消防、周辺市、自治会、商店街等とのこれまでの協力関係を活かして、近隣地域における賑わい創出や安全・安心なまちづくりに寄与します。

#### 3 味の素スタジアムのイベント等との円滑な調整

- 多目的スタジアム等を運営する構成団体により、スタジアムの大型イベント時におけるアクセスルートの案内・誘導、駐車場運用に関する連携、調整が円滑に行えます。



事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

提案課題4-1 別表 各部門の所要人員

	役 職	担当業務内容 (具体的に記入)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備 考
				常勤	非常勤	委託		
施設 配置 人員	施設長							
	副施設長							
	管理業務責任者							
	管理業務担当者							
	管理業務担当者							
	管理業務担当者							
	管理業務担当者							
	事業業務責任者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	事業担当者							
	アルバイト							
	アルバイト							
	アルバイト							
アルバイト								

提案課題4-1 別表 各部門の所要人員

	役職	担当業務内容 (具体的に記入)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託		
業務委託	設備管理業務責任者 及び調整責任者	設備管理、運転監視業務、 指揮監督(建築物環境衛生管理技術者) 味の素スタジアムの調整業務	設備保守管理の実績 12年程度及び建築物 環境衛生管理技術者 の保有 施設調整責任者の実 績含む					施設保守管理責任者
	設備管理業務副責任 者	設備管理、運転監視業務 (電気主任技術者として選 任)	設備保守管理の実績5 年程度及び第二種電 気主任技術者の保有					・味の素スタジアムの要 員が、一体的に業務に あたる ・通常時の味の素スタジ アムの標準的な人員で 記載 (味の素スタジアムの大 型イベント時等は警備 員等が増員される場合 がある)
	設備管理要員	設備管理、運転監視業務	設備保守管理の実績6 年以上及び設備管理 資格の保有等					
	設備管理要員	設備管理、運転監視業務	設備保守管理の1～5 年程度の実績を有する					
	警備業務責任者	警備保安業務担当責任者	実務経験20年以上 警 備員指導教育責任者 防災センター要員					
	警備業務副責任者	警備保安業務担当責任者	実務経験6年以上 警 備員指導教育責任者 防災センター要員、上 級救命					
	警備員	警備保安業務担当副責任 者	実務経験1～5年程度 防災センター要員 上 級救命、法定教育修了 者					
	清掃統括責任者	味の素スタジアムとの業務 調整	ビルクリーニング技能 士 実務経験20年以 上					
	清掃業務責任者	日常・定期清掃作業管理、 労務管理尾	ビルクリーニング技能 士 実務経験 5年以 上					
	清掃従事者	日常清掃、定期清掃						

●記入上の注意

- 職員一人ごとに記入。
- 「役職」は、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職(館長、警備員等)を記入。
- 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入。
- 「雇用形態」は、該当に○を記入。  
 ・「常勤」職員は、週40時間程度勤務し、貴団体が複数年にわたり雇用する職員とする。  
 ・「その他」の場合は、具体的に雇用形態を記入。
- 貴団体の本社等に本施設の管理にかかわる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入。  
 その場合は、「備考」欄にその旨を記載し、「1週間の勤務時間」は、本施設にかかわる時間のみを想定し記入。
- 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入。



## 提案課題 4 [組織及び人材] 2 明確な責任体制の構築

### 1 施設長設置の考え方

施設の運営全体を統括する施設長のもと、業務ごとに責任範囲を明確にした組織体制を構築します。

### 2 各部門の責任者の役割及び位置づけ

明確な責任分担に基づき、業務を遂行します。

- 各構成団体は明確な責任分担に基づき、それぞれの業務を統括する責任者が、個々の業務担当者への業務指示、安全管理、部門間の調整などを行います。
- 責任者の役職及び主な業務は以下のとおりです。

	職種	所属	主な業務
施設運営統括 事業運営統括	施設長	代表団体	本施設業務全般の責任者
	副施設長	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長の補佐</li> <li>・管理業務、事業業務の総括責任者</li> <li>・当グループ内の連絡調整責任者</li> <li>・地元自治体及び関係機関との連絡調整責任者</li> </ul>
	管理業務責任者	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理業務の責任者</li> <li>・地元自治体及び関係機関との連絡調整</li> <li>・管理業務担当者への業務指示、指揮監督</li> <li>・東京都との連絡調整</li> </ul>
	事業業務責任者	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業業務の責任者</li> <li>・連携・協力団体との連絡調整</li> <li>・事業業務担当者、トレーニング室業務への業務指示、指揮監督</li> </ul>
施設・設備 維持管理	設備管理業務責任者	構成団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備管理業務の責任者</li> <li>・設備・警備・清掃との調整指示</li> <li>・小規模修繕の検討及び実施</li> <li>・設備管理業務担当者への業務指示、指揮監督</li> <li>・味の素スタジアム大型イベントや駐車場利用調整</li> </ul>

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 4 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

### 【実施方針】

適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保を行います。

#### 1 適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- 勤務シフト間で引継ぎ事項を共有し、業務品質の確保と質の高いサービスのシームレスな提供に努めます。
- 施設内イベント等の情報は職員全員に周知徹底し、職員誰もが案内可能な体制を作ります。
- 関係法令を遵守し、適切な勤務時間の設定及び有給休暇や各種特別休暇の付与を行います。
- 業務ごとに主担当者と副担当者を配置し、複数体制で業務に当たることにより、業務の漏れを防ぎ、繁忙期や緊急時にも対応可能な体制で、確実に業務を遂行します。

#### 2 ライフ・ワーク・バランスの取れた働きやすい労働環境の整備

- 職員のライフ・ワークに合わせたローテーション勤務を組み、働きやすい職場環境を創出します。
- 育児休暇や介護休暇等の各種特別休暇についても必要に応じて取得できる勤務体制を確立します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 4 [組織及び人材]**  
**3 適切な勤務体制等**

**通常営業日**

施設長・管理業務	早番 (A)	遅番 (B・C)	合計	業務内容
受付業務				施設の利用受付、相談、案内等
管理・サービス業務				使用料収入、連絡対応、受付案内補佐等
合計				
副施設長・事業業務	早番 (A)	遅番 (B・C)	合計	業務内容
個人使用施設				トレーニング室運営業務
専用使用施設				専用使用における受付・施設準備及び巡回等
合計				

**自主事業開催時**

施設長・管理業務	早番 (A)	遅番 (B・C)	合計	業務内容
受付 (イベント含む)				施設の利用受付、相談、案内等
管理・サービス業務				イベント受付、連絡対応、受付案内補佐等
合計				
副施設長・事業業務	早番 (A)	遅番 (B・C)	合計	業務内容
個人使用施設				トレーニング室運営業務
専用使用施設 イベント担当				事業受付・イベント対応・専用使用施設巡回等
合計				

★運用上のポイント

施設運営において適切な職員配置を行いながら、有給休暇等の取得や出張等の対応も可能な勤務体制

★運用上のポイント

- ・自主事業でのイベント等開催時でも休暇取得等に影響の少ない勤務体制
- ・イベント開催時における様々な対応を可能とする人数を配置(通常営業日から人員増)
- ・イベント開催を行いながら、個人使用も対応できる人員配置

**提案課題 4 [組織及び人材]**  
**4 人材育成の取組**

**【実施方針】**

充実した職員研修を通じて、様々な人が快適に利用できる施設運営を担う職員を育成します。

**1 障害やパラスポーツに関する研修の充実**

- 代表団体の障害者専用スポーツ施設での知識と経験に基づいた研修を行い、障害の種別・程度に応じた対応のできる職員教育をします。
- 障害のある人への配慮や施設・用具の工夫について、障害者専用スポーツ施設で培ったマニュアルを活用した研修を行うとともに接遇についても学習する機会を設けます。
- 全国障がい者スポーツセンター連絡協議会や東日本障害者スポーツセンター協議会等の情報交換を行うことで、情報のアップデートと研修内容のブラッシュアップを常に行います。
- パラスポーツ特有の機材、ルール等を十分に理解するため、実技を交えた研修を実施し、受付対応や施設勤務の際に活用できる知識を習得します。
- 新人職員に対し、定期面談やメンター制度等を導入しメンタルヘルスクアを図ります。

**2 目標管理制度の導入によるモチベーションと業務の質の向上**

- 職員全員に目標管理制度を導入します。
- 責任者との個別面談を実施し、自己の目標設定と業務の質向上をリンクさせることで職員のモチベーションアップと技術や能力の向上を図ります。

**3 資格取得の奨励による職員の自主的なスキルアップ支援**

- 新人職員については、都のスポーツ振興を担う公の施設運営に欠かすことのできない、法令遵守、接遇、東京都のスポーツ推進計画等の基礎知識の習得を徹底します。
- 障がい者スポーツ指導員資格取得をはじめ、トレーナーに関する資格や業務に必要となる資格取得についての積極的な受講を推奨します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 4 人材育成の取組

#### 4 計画的な研修の実施

- 年間を通じた研修計画を策定し、職員の資質向上と効率的な業務運営を行います。
- 職員の目標への取組や、自主的なスキルアップや資格取得等を支援するため、外部の研修参加を積極的に奨励しています。

対象	研修名	研修内容	回数
共通	新任研修	本施設着任における基礎事項の研修	随時
	接遇研修	・接遇の心構え ・障害のある人における接遇	年1回
	総合防災訓練	・消火器による消火訓練 ・緊急時対応、避難訓練	年2回
	救命講習	・応急処置、心肺蘇生法等の技能取得	年2回
	障がい者スポーツ指導員養成講習	・パラスポーツの意義についての理解 ・スポーツを楽しむために工夫等	年1回
	法令遵守対応	・コンプライアンス教育 ・当施設関連法令の確認	年2回
	個人情報保護	・個人情報の保護と情報セキュリティに関する研修 ・個人情報保護法に関する教育	年3回
	障害概論	・障害全般における知識取得	随時
	障害者のスポーツ施設における配慮と工夫	・障害における施設利用等の対応方法等	随時
	環境対策	・環境問題に関する知識 ・省エネルギーの徹底	随時
業務別	マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法等	年2回
	オペレーションスキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時
	専門知識研修(トレーニング)	・トレーニング方法、トレーニング機器操作など	随時
	フォローアップ研修(トレーニング)	・業務マニュアルに沿って、意思統一 ・質の向上	月1回
	指定管理講習	・指定管理者としての心構え ・施設の設置目的達成のための検討	年2回
その他	外部研修への派遣 ※全国障がい者スポーツセンター連絡協議会等	・資格取得または上級資格取得のための講習・研修の参加	適時

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

多目的スタジアムの施設、設備及び物品の維持管理を20年以上継続して行ってきた構成団体のノウハウを活用し、味の素スタジアムと一部設備等を共有する当施設の安全・衛生・機能を確保し、一体運営のメリットを活かして適切な管理を行います。

#### 1 実施方針

- ① 味の素スタジアムとの連携による一体運営を実現し、維持管理に係る人材や機材等の共有、コスト削減、ノウハウ継承等のメリットを最大化
  - 一体運営により設備員の有効配置・削減を図るほか、同一消耗品類や大型機材等の共用により、効率的な維持管理及び購入費用削減を実現します。
  - 来館者の安全で快適な動線確保のため、大型イベント時などに味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザが実施している施設周辺の巡回清掃に協力することで、地域に貢献します。
  - ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会の会場となった味の素スタジアムとの一体運営により、安全かつ確実なイベント運営のノウハウを継承し、施設利用者の利便性向上を実現します。
  - 構成団体のノウハウにより、味の素スタジアムの大型イベントや本体下駐車場の調整が円滑に行えます。
- ② 多目的スタジアム等の維持管理ノウハウを活用して、計画的かつ効率的な予防保全を実施し、施設・設備を長寿命化
  - 予防保全を重視し、中長期視点で計画的に建物設備の点検や部品交換等を実施することで、機能及び性能を維持し、修繕費や管理コストの最適化を図り、ライフサイクルコスト(以下「LCC」という。)を削減します。
  - 保守点検記録(日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等)、LCC情報(光熱水費・修繕履歴)、建物図面等をデータベースで一元管理し、その分析・解析に基づき専門家による定期的な診断調査を行い維持管理に反映します。
  - 構成団体の技術職員を常勤で配置することで、専門知識や施設維持管理ノウハウを活用して、計画的かつ効率的な予防保全の実施を実現します。
  - 設備員や警備員、清掃員を始め、職員全員が一体となり不具合を早期発見し、中央監視室に報告・集約して迅速に対応します。必要に応じて、味の素スタジアムに常駐する設備員による応援も行います。
  - 副施設長を物品管理責任者とし、台帳による適切な管理のもと、「備品シール」を貼付するほか、廃棄する備品のうち使用可能なものは、都との協議により他の都立施設等でリユースします。
- ③ 竣工当時から建物管理を受託している構成団体と連携することで、スムーズな施設立ち上げが可能
  - 各機器の点検作業に対して、すでに作成している年間作業計画に基づき実施を開始しており、3月以降のスケジュールについても遅滞なく各種業務を遂行できる体制を構築しています。
  - これまでの修繕内容を熟知しており、日常管理における重点ポイントを把握した管理を実践します。
  - 警備業務においては防犯カメラの映りにくい箇所や死角になる箇所熟知しており、効率的で効果的な巡回ルートを策定しています。
  - 危機管理マニュアル(火災発生時・地震発生時)についても、3月の指定管理業務のスタート時には遅滞なく策定します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### 2 実施体制

■ 多目的スタジアムの維持管理を担当する構成団体及び施設管理JVを中心に、維持管理体制を構築

- 20年以上にわたり構成団体とともに多目的スタジアムの維持管理業務を継続して行ってきた施設管理JVに当施設の維持管理業務を委託します。長年培ってきた経験とノウハウを活かしながら、代表団体と協力して確実に業務を遂行します。



※設備・警備・清掃を担当する3社はISO9001及びISO14001認証を取得済み。  
ISO認証に基づき、マネジメントシステムによる高い業務品質を提供。

#### 3 委託を行う業務

■ 施設管理JVに当施設の維持管理業務委託を行う理由

##### ① 設備保守管理業務

特別高圧受電設備や中央監視装置等、一部の設備を味の素スタジアムと共用しているため、味の素スタジアムの設備に精通しており、かつ同スタジアムと点検時期等の調整を効率的かつ円滑に行える事業者には保守管理業務を委託する必要があります。

##### ② 警備業務

味の素スタジアムでJリーグ等のイベントがある際は、イベント関係者と当施設利用者の選別を行う必要があるため、同スタジアムで開催されるイベントを熟知しており、かつイベント主催者側の警備と密に連携が取れる事業者には警備業務を委託する必要があります。

##### ③ 清掃業務

味の素スタジアムと人材、機材、消耗品等の共有や、廃棄物の一体的処理等を行える事業者には清掃業務を委託することで、業務効率化及びコスト削減が実現できます。

■ 委託の際に注意する点

- 安全性を確保するため、専門知識が必要な点検については、メーカー等の外部事業者には保守点検を依頼します。
- 質の高い業務を確保できるよう、責任者による立会いのもと、当グループが全面的に責任を持って厳格な管理と指示を行います。(具体的な委託業務内容については、次ページ【委託業務一覧】参照)

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]**

**1 施設、附属設備及び物品の維持管理**

(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

分類	委託業務	業務内容	注意点
調整管理	調整管理業務	味の素スタジアム等との調整、管理(図面、帳簿類整理)	味の素スタジアム等との調整
設備運転 監視・ 日常巡回	設備運転監視・巡回点検業務	監視、巡回点検、調整 (駐車場利用状況把握含む) (毎日)	監視業務は24時間。電気室巡視は毎日、空調・熱源巡視は週1回
電気設備	高圧変電設備(第5電気室)年次点検	高圧機器の点検、清掃、測定、連動試験(1回/年)	電気事業法に基づく点検、停電日の調整、仮設電源の共有場所、機器の停止と復旧
	電灯・動力盤(24面)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	点検時期の調整
	直流電源装置(2台)点検	点検、調整、測定、連動試験(1回/年)	
空調設備	冷温水発生機(空調用)(2台)点検	点検、分析、調整、運転切換、清掃(4回/年)	点検時期と冷暖切り換えの時期について味の素スタジアム等と調整
	自動制御機器点検	点検、調整、測定、清掃(4回/年)	点検時期の調整
	冷却塔(2台)点検、清掃	点検、調整、測定、清掃(4回/年)	
	冷温水(5台)・冷却水ポンプ2台)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	
	冷温水用膨張タンク(1台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	水処理装置(2台)点検	点検、薬品補充、測定(2回/年)	
	空調機AHU(3台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	外調機OHU(3台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	空調機TAC(2台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	空冷パッケージPAC(1台)点検	点検、調整、測定、清掃、冷媒補充(1回/年)	
	マルチパッケージMPAC(外機1台 内機5台)点検	点検、調整、測定、清掃、冷媒補充(1回/年)	
	ファンコイルユニット(82台)点検	点検、清掃(1回/年)	
	全熱交換機AHEX(1台)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	
エアフィルターユニットAFU(2台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)		
給排水 衛生設備	排煙機(2台)・送風機(3台)・排風機(20台)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	点検時期の調整
	温水ボイラBO(2台)点検	点検、清掃(1回/年)	
	給湯用ポンプHWP(3台)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	
	給湯用膨張タンク(2台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	給湯用熱交換器(1台)点検	点検、調整、清掃(1回/年)	
	給湯器EHW(18台)点検	点検、清掃(1回/年)	
	排水ポンプ(SAP2台/WAP2台)点検	点検、調整、測定、清掃(1回/年)	
汚水(1基)・雑排水槽(1基)清掃 ※東京都と要調整	点検、希釈清掃(1回/年想定)	建築物衛生法に基づく点検、作業中の異臭と施設の汚損への配慮	

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]**

**1 施設、附属設備及び物品の維持管理**

(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

分類	委託業務	業務内容	注意点
防災設備	消防設備点検	点検、調整、設定、清掃(2回/年)	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	防火設備定期検査(シャッター1面、防火戸3面)	点検、調整、設定、清掃(1回/年)	
その他 建築設備	昇降機設備(1基)点検	点検、調整、測定、清掃 (法定検査1回/年、自主点検含む)	点検時期の調整
	自動扉(3面)点検	点検、調整、測定、清掃(2回/年)	
	電話交換機設備保守・点検	障害の修復、部品交換、調整(年間保守) 点検、調整、測定、清掃(2回/年)	建築物衛生管理法に基づく検査、作業時期の調整
	空気環境測定(3ポイント)	測定、分析、調査(6回/年)	
	ばい煙測定(2台)	測定、分析、調査(2回/年)	
	防火対象物点検報告・防災管理点検結果報告	点検、調整、報告(1回/年)	
警備管理 業務	監視カメラ、侵入警報、火災受信盤監視業務	監視、調整(毎日)	不審物・不審者発見時の対応 消防・警察との調整
	スタジアムイベント開催時車両誘導対応	施設利用者車両の誘導・案内 (40回程度/年 想定)	味の素スタジアム、イベント主催者等との調整
清掃管理 業務	日常清掃業務	点検、調整、清掃(6日/週)	施設利用者が快適に過ごせるよう、清掃時間帯等の調整
	定期清掃	点検、調整、清掃(1回/年)	清掃時期の調整 (*作業頻度は状況に応じて増やす場合がある)
	窓ガラス清掃	点検、調整、清掃(1回/年)	
	害虫駆除	点検、消毒、害虫駆除(2回/年)	点検時期の調整、利用状況の正確な把握
	照明器具清掃	点検、調整、清掃(1回/年)	
	消耗品(トイレトーパーパー、ビニール袋、水石鹸)	点検、消耗品調達・補充(6日/週)	
味の素スタジアム との 共用設備	特別高圧受電設備点検	高圧機器の点検、清掃、測定、連動試験(1回/年)	
	自動制御設備点検	点検、調整、設定、清掃(4回/年)	点検時期について味の素スタジアム等との調整
	受水槽清掃	点検、清掃(1回/年)	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	建築設備点検	点検、調整(1回/年)	建築基準法に基づく点検、作業時期について味の素スタジアム等との調整
	特殊建築物検査	点検、調整(1回/年)	
	中央監視装置点検	点検、調整、設定、清掃(1回/年)	点検時期について味の素スタジアム等との調整

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ



## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (2) 施設の修繕

20年以上にわたり多目的スタジアム等の日常管理を行ってきた構成団体の知識・経験を活かし、中長期的視点に基づく計画的な修繕作業を実施するとともに、味の素スタジアムとの連携や、地元業者の活用による迅速な対応体制を構築します。

#### 1 実施方針

##### ① 更新時期を見据えた日常的修繕による設備等の延命化

- 構成団体と施設管理JVが当施設の劣化状況等を正確に把握しており、必要に応じて東京都と情報共有することができます。
- 把握する劣化状況を基に、中長期修繕計画を作成し、修繕・点検結果はデータベース化することで、PDCAサイクルを活用した最適化を図ります。メンテナンスサイクルは3年毎に見直しを検討することを基本とし、予防保全に反映、メンテナビリティ向上を図ります。なお、中長期修繕計画作成に当たっては、築後20年以上経過し設備等が古くなっていることから、東京都の長期保全計画に基づく設備等の更新や大規模修繕工事等の計画を踏まえ作成します。

##### ② 味の素スタジアムとの連携により時間を短縮して集中的に作業を実施し、利用者への影響を最小化

- 休館日や、味の素スタジアムでの大規模イベントが少ない平日、早朝・夜間を利用して作業を実施するとともに、必要に応じて味の素スタジアムの設備員と連携して集中的に作業を実施することで、遅滞なく作業を実施し時間短縮を図ります。

<今後対応が必要と思われる箇所>

No.	項目	状況
1	自動扉(正面出入口2台、資料室1台)	自動扉のセンサーや開閉装置に経年劣化がある。
2	送排風機	経年劣化が進行している。
3	飲用兼用温水器	一部機器は設置から20年以上経過しており、経年劣化が進んでいる。
4	空調設備(空冷式パッケージ型空調)	全廃フロン(R22)を使用している空調設備は、年式が古くなっている。
5	全体空調(外調機、ターミナル型)	竣工当時から使用している設備のため、各部に経年劣化が見受けられる。
6	冷温水発生機(2台)	竣工当時から使用している設備であり、メーカーからは補修対応ではなく更新を推奨されている。
7	冷温水2次ポンプ(全体空調用)	竣工当時から使用しており、各部に錆が見受けられる。
8	給湯用温水器(ボイラ)	竣工当時から使用している設備であり、メーカーからは補修対応ではなく更新を推奨されている。

※ 2022年8月時点で、構成団体が把握している劣化状況を記載しています。上記を基に、味の素スタジアムの大規模修繕工事等も踏まえ、計画的かつ効率的な中長期修繕計画を作成します。

#### 2 実施体制

##### ① 集中作業に共同で対応可能な味の素スタジアムと連携した体制の構築

- 構成団体と施設管理JVにより、日常巡回や定期点検で発見した不具合に対する小規模修繕や、中長期修繕計画に基づく予防保全を計画的に行います。また、必要に応じて味の素スタジアムの設備員と連携した体制構築を図ります。

##### ② 地元業者を活用した、外部発注の迅速な体制整備と地域への貢献

- 外部発注が必要な修繕は、施設管理JVのネットワークを活かし、メーカーへの連絡・迅速な対応を行うとともに、味の素スタジアムの管理運営で培った連携体制のもとに、積極的に地元業者を活用します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕 2 その他管理運営に関する事項

### (1) 危機管理及び災害対応

地元警察・消防との信頼関係が強固な味の素スタジアムと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。

#### 1 施設内での事故及び事件並びに天災等、想定される危機に対する対応策

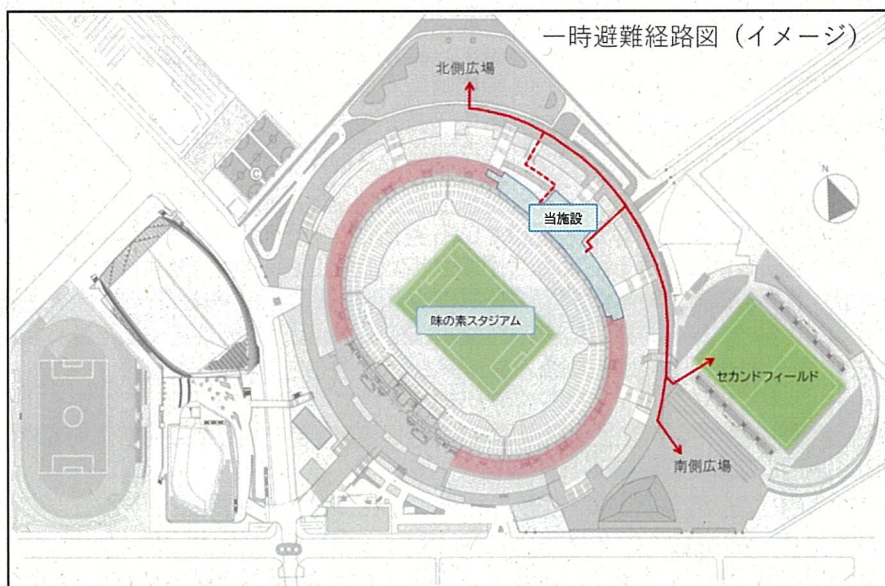
##### ① 火災・災害発生時の対応

###### ■ 大規模災害発生時に迅速かつ適切に資材や滞在場所を提供できる体制を整備

- 消防計画を早期に作成し、防火管理者ほか必要な要員を整え、味の素スタジアムが設けている自衛消防協議会の一員として万全な防災体制を構築します。併せて、一時滞在施設の管理運営組織の体制も整えます。
- 事業継続計画(BCP)及びマニュアルを作成し、味の素スタジアムと共有することで、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための活動を一体的に実行できるようにします。
- 一時滞在施設として、帰宅困難者用飲料水、食料、毛布、トイレ袋等の在庫管理を徹底するほか、有事の際には一時的に体育室を開放するなど、物資や滞在場所の提供ができるようにし、災害に備えます。
- 大規模災害時のバックアップとして、味の素スタジアムと共用の非常用発電機による発電が8時間できるようになっており、最低限の電源と照明を確保できます。
- 当グループは、多摩地域に多くの社員が居住していることや近隣に事業所が多くあることから、災害時スタッフが直ちに参集し、施設の安全な運用を図ることができます。

###### ■ 障害のある人の利用施設として、味の素スタジアムとの合同による定期訓練の実施

- 障害のある人を交えた訓練を行い、パラスポーツ振興を目的として万全の備えを行います。
- 地元消防署の指導のもとに、味の素スタジアムと合同で定期的に防災訓練を実施します。それにより、両施設で同時にイベントが行われた場合等、様々なケースを想定した効果的な訓練を行うことができます。(次ページ状況写真参照)
- また、構成団体が管理運営する味の素スタジアムのセカンドフィールドや広場等を避難場所とする等、利用者の安全を最優先し、一体となった避難計画を策定します。



\*消防署とも調整し今後詳細な避難計画を作成します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (1) 危機管理及び災害対応

##### ② 事故・急病発生時の対応

###### ■ 当施設の全社員が「上級救命技能認定」を取得し、的確な対応を実施

- 全社員が「上級救命技能認定」を取得し救急時には的確に対応、都民、来館者の生命を守ります。
- 「スポーツ施設におけるAEDの設置・管理のあり方に関するガイドライン」に基づき、AEDを来館者の動線上に適切に配置し、日常点検をしっかりと行うとともに、地元消防署の指導のもと、定期的に味の素スタジアムと合同で訓練を実施します。(下記状況写真参照)
- 疾病や感染症対策についても、東京都と連携した対策の実施やマニュアルの整備等を通じて速やかに対応します。
- 利用者に対しても、当施設のルールに基づきピクトグラム等でわかりやすく利用者の目につきやすいよう看板やチラシ等で注意事項を掲示します。
- あわせて、事故・急病等に備え、「賠償責任保険」(てん補限度額:対人・対物共通20億円)と「レジャーサービス費用保険」に加入し対応します。

##### ③ 犯罪防止の対応

###### ■ 味の素スタジアムと連携した巡回警備を実施し、情報共有により機動的で迅速な対応を実現

- 味の素スタジアムと警備体制を共有し、また、同スタジアムにおける警備実績の中の巡回警備要領を活用して経路や時間、特に警戒すべきポイント等を重点的に設定し、隙のない警戒を実施することにより、都民や来館者への安全確保、事故発生防止を図ります。特に、夜間の小火や不審者等に対し、連携して機動的かつ迅速に対応します。
- 巡回警備またはカメラ監視において発見した事案は、影響の有無に限らず、味の素スタジアム防災センターと情報を共有し、当施設と一体での防犯に役立てます。
- 地元警察署の指導のもと、味の素スタジアムと合同で定期的に不審者対応訓練を実施し、有事の際に機動的に対応できる体制を整え、施設利用者の安全を確保します。(下記状況写真参照)

#### 味の素スタジアムの取組を活用し、地元警察・消防の指導のもと様々な訓練を実施

##### ① 火災・災害発生時の対応



味の素スタジアムでの  
消防訓練の様子



車いす利用者の  
避難誘導訓練

##### ② 事故・急病発生時の対応



AED訓練の様子

##### ③ 犯罪防止の対応



さすまた取扱訓練の様子

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

**提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]**  
**2 その他管理運営に関する事項**

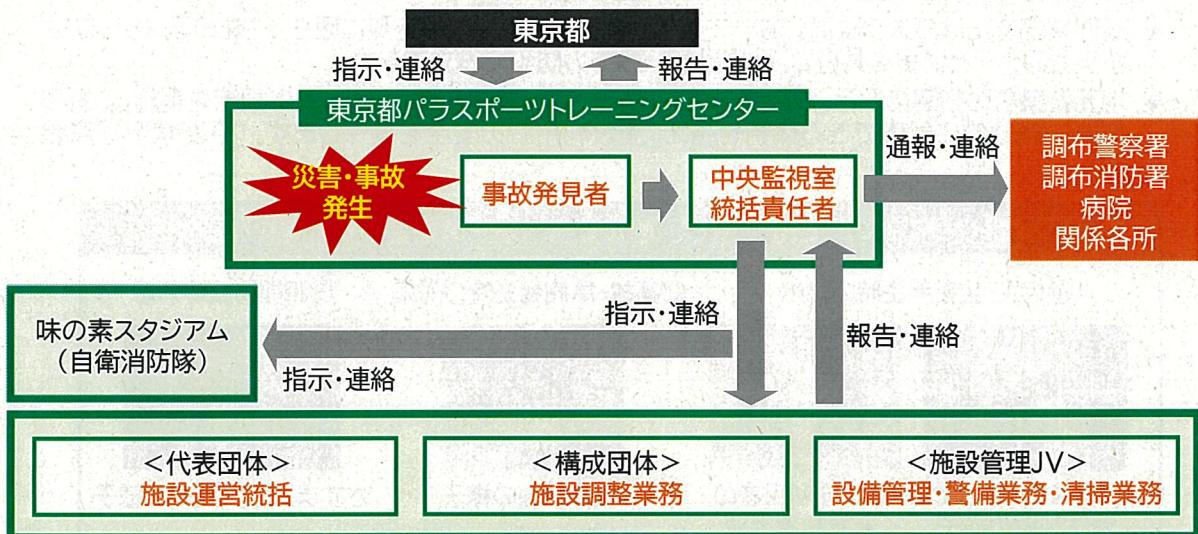
(1) 危機管理及び災害対応

**2 リスクマネジメント体制**

■ 味の素スタジアムと連携した緊急連絡体制を構築

- リスクを未然に防ぎ、事故・災害等発生時には連携して機動的に対応できる体制を、味の素スタジアムと連携して整備します。
- 構成団体の実績に基づく地元警察・消防とのリスクへの共通認識、信頼関係を継承し、万全の体制を構築します。
- 消防計画の作成に当たっては、都とも協議して策定し、防火管理者である副施設長のもと、自衛消防隊を構成します。そして、味の素スタジアムの自衛消防隊と円滑で迅速な連携構築を図ります。
- 副施設長をリスク管理責任者とし、業務における潜在リスクの抽出、分析・評価を行い、対応策を決定の上、リスク対応マニュアルを作成し、当該業務を担当する職員に対して周知徹底を図ります。リスク対応マニュアルは、味の素スタジアムとも共有します。
- 特に、パラスポーツ振興のため多くの来館を見込むことから、障害の種別・程度に応じた潜在リスクを想定した対応マニュアルを作成します。
- 緊急時対応としては、味の素スタジアムが風水害時における緊急時避難場所施設利用に関する協定を、調布市・府中市・三鷹市・狛江市と締結しているため、施設の一部を緊急時避難場所として共同で利用できるようにします。

[緊急連絡体制図(イメージ)]



事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (2) 地球環境への配慮

東京都の施策を踏まえ、多目的スタジアム等での運営実績を活かして様々な環境配慮施策に取り組むとともに、地域や利用者に幅広く普及啓発を行い、「スマートシティ」実現に貢献します。

#### 1 東京都の施策を踏まえた具体的な環境配慮への取組

- 東京都の環境確保条例に基づき、「ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report」、「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」、「省エネ・再エネ東京仕様」、「ゼロエミッション都庁行動計画」等の環境施策を踏まえ、CO2排出抑制に適切に取り組めます。また、東京都の方針に従い、「HTT」の取組を推進します。
- 「指定地球温暖化対策事業所」となった場合には東京都とともにCO2排出量抑制に適切に取り組めます。
- 構成団体が管理運営する多目的スタジアムは、地元自治体より、環境にやさしい事業所「エコ・オフィス」のゴールドランクとして、平成21年より認定を受けております。当施設もこれを目指し、グループ及び地域一体となって取り組めます。
- 当施設が持続的に環境に配慮した施設として環境負荷を低減していくため、味の素スタジアムと一体となって環境配慮ガイドラインを策定します。

#### 当施設における環境保全のための取組

##### ■ 雨水等の再利用

雨水は味の素スタジアムと共用の貯水槽に溜められ、濾過処理を行った後に館内トイレの洗浄水に使用します。

##### ■ 外構部の樹木・壁面緑化の維持管理

味の素スタジアム外構部の広場等にある樹木や、全面的に緑化している外周部の壁面などを味の素スタジアムと一体となって維持・管理することで、一年を通じて緑を楽しめるとともに、壁面温度の上昇抑制や照り返しの防止効果を発揮させます。

##### ■ 生ごみのコンポスト化

当施設で発生した生ごみは味の素スタジアムと一体となって施設内で分解処理を行うことで、ごみを削減し、収集運搬や焼却処理による環境への負荷を低減します。

##### ■ その他

「HTT」アクションプランの策定、事務室冷房時の室温28℃の徹底、ピークシフト自販機の設置、衛生器具や水栓類の水量抑制、照明照度の軽減、消耗品類のグリーン購入推進、環境に配慮したケミカル類の選定などを実施します。

#### 2 都民・企業への環境配慮に関する普及啓発についての取組

- 構成団体が実施してきた、地域住民や企業を巻き込んだ環境に関する取組を活かしながら、さらに、当施設の利用者やイベント来館者に幅広く普及啓発を図っていく取組を実施します。
  - 館内の各所に「HTT」などの取組に係るポスターを掲示し、節電を呼びかけます。
  - 館内のトイレや洗面所に「節水」のポスターを掲示します。
  - 味の素スタジアムと一体的に実施するイベントにおいて、再生可能エネルギーや省エネルギーの設備を見学及び説明する機会を設け、環境保護に向けた取組を環境学習に活用できるようにしていきます。
  - 職員に対する意識啓発として、全体会議にて施設の電気・ガス・水道使用量についての報告と、二酸化炭素排出量について報告します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (3) 個人情報の保護

PDCAサイクルにより個人情報保護体制の継続的な運用改善を図り、個人情報保護に万全を期します。

#### 1 個人情報の収集

- 当施設では、氏名、生年月日、住所、電話番号、障害種別等の個人情報を、運営に必要な最小限の範囲で収集します。
- 特に、安全管理及びサポート上必要な個人情報(障害区分、障害等級等)は最小限の範囲で収集します。また、この個人情報の収集にあたっては、本人から直接収集することを原則とし、個人情報の利用目的を説明し、同意を得た上で取り扱うなど、東京都個人情報の保護に関する条例や当施設で定める個人情報保護規程等に基づき厳正に対応します。

#### 2 個人情報保護規程等の策定

- 当施設においては、各団体が当施設での管理運営にあたり守るべき統一的な個人情報保護規程を新たに策定します。
- 実際の業務に応じた個人情報保護に係る取組の手引きを作成し、研修の場などを通じて職員に徹底します。また、法令及び規程の改正や、業務の状況等を反映し、継続的に手引きの見直しを行います。

#### 3 組織体制の確立

- 施設長を責任者とする全職員を対象とした研修及びチェック体制を構築することで、個人情報保護の職員への徹底と運用の継続的な改善を実現します。
- 日常業務における個人情報の取扱いについて、各業務の責任者による管理を徹底するほか、施設長が定期的に職員の理解度及び取組状況の検査を行うことで、継続的に改善を図ります。

#### 4 サイバーセキュリティ対策の徹底

- データベースにある個人情報は、東京都サイバーセキュリティ基本方針の規定を踏まえ、情報漏洩などを防ぐため、アクセス管理者により厳重なセキュリティ対策を講じるとともに、ペーパーベースの個人情報については、鍵のかかる保管庫で管理します。

#### 5 守秘義務の遵守

- 守秘義務については、新たに策定するグループの職員服務規定に定め、遵守と徹底を全職員に義務付けます。
- 守秘義務については、個人情報保護と合わせて定期的に研修を実施し、全職員に周知徹底します。
- 全職員に、守秘義務の遵守に関する誓約書を提出させます。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (4) 感染拡大防止

#### 【実施方針】

「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン第5版」を踏まえ徹底した感染防止対策を行います。



#### 1 施設的环境整備

- 施設的环境を整備することで、感染症の拡大を防止します。

##### 感染症拡大防止のための運営備品の設置

- 除菌アルコール台の設置と運営
- 体温測定器の設置と運営
- アクリルパネルの利用
- スマホアプリ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)の登録促進の案内を実施
- 「感染防止徹底宣言ステッカー」の掲示



検温の実施



使用器具の消毒

#### 2 利用者向け感染防止対策

- 利用者の障害特性に配慮し、きめ細やかな対応を行います。利用前2週間の体調や利用当日の体調を記載したチェックシートの提出を利用者に求めます。氏名や連絡先等についても提出してもらい、感染者が発生した場合には、必要な連絡ができるようにします。取得した個人情報については、目的外使用をせず、一定期間経過後は適切に破棄します。

来館時にチェックシートを記載してもらい、万が一の連絡体制を確保

※表裏の両面へ (令和3年3月12日現在)

新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート

●本表・イベント票を添付する際には、このチェックシートもご活用いただき、記載の各項目の実施を徹底し、実施できず十分な確認がとれない場合は、記載していただきますようお願いいたします。

項目	対応状況	チェック
▶施設に到着し、検温を行うことに関して		
1 検温・アルコール消毒の徹底を促すための掲示、検温・消毒機を必要数に設置すること。		<input type="checkbox"/>
2 必要数に達しない場合は、検温・消毒機を必要数に設置し、検温・消毒機が利用可能な状態にあること。		<input type="checkbox"/>
3 検温・アルコール消毒機を複数設置すること。		<input type="checkbox"/>
4 検温・消毒機が故障した場合は、検温・消毒機を必要数に確保すること。		<input type="checkbox"/>
5 検温・消毒機が故障した場合は、検温・消毒機を必要数に確保すること。		<input type="checkbox"/>
6 検温・消毒機が故障した場合は、検温・消毒機を必要数に確保すること。		<input type="checkbox"/>
7 検温・消毒機を複数設置すること。		<input type="checkbox"/>
8 検温・消毒機が故障した場合は、検温・消毒機を必要数に確保すること。		<input type="checkbox"/>

#### 3 従業員の感染症対策

- 職員の健康状態を把握するため、毎日の検温や自覚症状の有無などをチェックする体制を構築します。
- 職員はマスク着用と手指消毒を徹底します。また、職員間で共有する物品や場所をなるべく減らし、アクリルパネルを設置します。共有する場合も、使用前・使用後の消毒を徹底します。
- 障害者専用スポーツ施設を運営してきた経験を活かし、基礎疾患があるなど感染による重症化リスクが高い利用者や接する際の注意点を、研修や日々のミーティングを通して全職員に浸透させます。

#### 4 感染者が発生した際の対応

- 感染者が発生した場合でも速やかに対処できるよう、保健所との連絡窓口となる担当職員を配置し、所管の保健所と事前に連携体制を構築します。
- 保健所の指示に基づき、感染者との濃厚接触者に該当する可能性のある利用者や職員等については、個別連絡をし、利用や出勤を控えていただきます。また保健所の指示に基づき施設内の消毒を行います。
- 東京都に報告するとともに施設ホームページを通じて公表します。公表に際しては、人権の尊重・個人情報保護に配慮します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ

## 提案課題 6 [収支計画]

### ○指定期間中の収支の考え方

#### 1 収益向上に対する考え方

- 体育施設利用料金収入について、パラスポーツの拠点としての機能を確保しつつ安定的な収入確保を実現します。減額・免除対象となる利用者や団体による一定の施設利用が想定され、委託料(指定管理料)の大幅な縮減は見込めない状況ではありますが、近隣地域への重点的かつ効果的な周知による稼働率の上昇と施設ごとのメリハリのある貸出に努め、令和5年度からの5年間で の増収を見込みます。(単位:千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度

- 自主事業や周辺連携事業について、代表団体が持つパラスポーツのノウハウを活かしつつ、パラスポーツへの社会的需要や周辺地域のスポーツ振興等に寄与する事業展開を行うことで、着実に収入を確保していきます。加えて、近隣地域に強みのある構成団体と連携し企業等の外部資金の確保を推し進めることで、令和5年度からの5年間で の増収を見込みます。(単位:千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度

#### 2 支出削減に対する考え方

- 初期段階でのデジタルトランスフォーメーションへの十分な投資と運営体制の構築を実現し、消耗品費やランニングコストの低減を図ります。

#### 3 都からの委託料(指定管理料)の削減額

- 令和5年度から9年度の5年間で、2,016千円の削減を見込みます。(単位:千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
55,064	201,758	201,252	200,749	200,242	199,742

#### 4 収支計画を上回る利益が発生した場合や収支に赤字が発生した場合の取扱い

- 東京都へ提出する収支計画を上回る利益が発生した場合は、一定額を将来の赤字に備えて積立てた上で残額全額を翌年度に繰越し、設備、事業及び職員の人材育成に投資することにより施設サービスの一層の充実を図ります。なお、積立てた額は指定管理の最終年度で完全に消化します。
- 収支に赤字が生じた場合は積立金を切り崩して赤字を解消し、なお不足する場合は当グループ内で負担します。

事業者名・団体

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会グループ



## 提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(令和4年度については、令和5年3月1日以降を記載してください。)

### (1) 支出の計画

単位：千円

項目		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員									別紙1積算内訳①
	臨時職員								アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	
	人件費計(A)									
管理運営費	光熱水費								電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等								消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費								電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)								設備保守・清掃・整備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内
	修繕費・工事費									別紙1積算内訳⑥
	賃借料								リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他								諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	小計									
	間接費								管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計									
	消費税									
管理運営費計(B)										
スポーツ振興事業費	事業費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る事業費	事業計画書 3-1-(1)(2)
	間接費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計									
	消費税									
スポーツ振興事業費計(C)										
支出合計(D=A+B+C)										

### (2) 収入の計画

単位：千円

項目		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
管理運営費	体育施設利用料金								専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨
	その他								預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩
	管理運営費計(E)									
スポーツ振興事業費	参加料								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る参加料	事業計画書 3-1-(1)(2)
	その他								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る協賛金等	
	スポーツ振興事業費計(F)									
その他(G)								自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(3)(4)(5)	
収入合計(H=E+F+G)										

### (3) 都からの委託料

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
都からの委託料(D-H)	55,064	201,758	201,252	200,749	200,242	199,742	1,058,808		

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

### (4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。令和4年度については、令和5年3月1日以降を記載してください。)

#### ① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--	--	--

#### ② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気							
ガス							
水道							
合計							

#### ③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
管理用							
施設用							
清掃用							
備品購入費							
印刷製本費							
合計							

#### ④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
通信費							
運搬費							
電話代							
合計							

#### ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり							

#### ⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
工事費							
修繕費							
合計							

提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
OAリース							
AEDリース							
施設用リース							
合計							

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
保険料							
委託費（その他）							
支払手数料							
雑費							
旅費交通費							
職員研修費							
合計							

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
体育室							
トレーニング室（個人）							
トレーニング室（団体）							
多目的室							
小多目的室							
小体育室1							
小体育室2							
多目的スタジオ							
集会室							
合計							

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

● 体育施設利用料金収入の積算内容を具体的に記述してください。

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
自動販売機光熱水費収入							
合計							

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

【令和4年度】

分類	作業の種類	金額(円)	備考
調整管理業務	調整管理		
設備運転監視・ 日常巡回点検業務業務	防災センター監視・設備巡回点検 味の素スタジアム共用設備管理業務 など		
その他建築設備点検業務	昇降機設備		
警備管理業務	防災センター監視業務、イベント開催時車両誘導対応など		
清掃管理業務	日常清掃業務、消耗品対応		
その他管理業務	廃棄物処理（一般廃棄物）		
	端数調整		
計			

【令和5年度以降の各年度】

分類	作業の種類	金額(円)	備考
調整管理業務	調整管理		
設備運転監視・ 日常巡回点検業務業務	防災センター監視・設備巡回点検		
電気設備定期点検業務	高圧変電設備（第5電気室）、電灯・動力盤（24面） 直流電源装置（2台）		
空調設備定期点検業務	自動制御機器点検、冷却塔、冷温水・冷却水ポンプ、 空調機、全熱交換機、排煙機、送風機、排風機 など		
給排水衛生設備定期点検業務	温水ボイラ、給湯用ポンプ、排水ポンプ、給湯用膨張タンク 給湯器、熱交換機 など		
防火設備定期点検業務	消防設備（防火シャッター、防火戸含む） 対象物点検報告、点検結果報告など		
その他建築設備点検業務	昇降機設備、自動扉、電話交換機、空気環境測定、 ばい煙測定、対象物点検報告、点検結果報告 など		
警備管理業務	監視（カメラ、目視）業務、異常時対応（警察、消防） 味の素スタジアムイベント開催時車両誘導対応 など		
清掃管理業務	日常清掃、定期清掃（窓ガラス、照明含む）、害虫駆除、消耗品 など		
味の素スタジアムとの共用設 備管理業務	特別高圧受電設備、自動制御設備、受水槽・雑用水槽清掃 特殊建築物検査、中央監視装置 など		
その他管理業務	廃棄物処理（一般廃棄物、産業廃棄物）		
計			

- ※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。
- ※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。
- ※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。
- ※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。